



まだまだつながる
市制施行60周年

2014 相模原市 市制施行60周年記念要覧



～未来へつながる～
SAGAMIHARA

SAGAMIHARA 2014



く
未来へつな
がる



まだまだつながる
市制施行60周年



CONTENTS

はじめに

潤水都市さがみはら 未来に向かう合言葉

第1部 「見つけよう！」未来へつなげたい、さがみはらの魅力	26
明日へきらめく、広域交流拠点都市	28
「リニア中央新幹線」計画！	34
相模総合補給廠の一部返還で加速する新たなまちづくり	36
小田急多摩線延伸で広がるネットワーク	38
圏央道が、新たなライフスタイルを生む。	40
第2部 「楽しもう！」未来へつなげたい、さがみはらの魅力	50
8つの視点から、さがみはらの魅力に迫る！	52
さくらが結ぶ し・あ・わ・せ…	54
引き継ごう、ピュアな自然。	58
ハートを、大地を潤す恵みの水。	66
ひらかれる宙への扉	72
スポーツと寄り添う暮らし	80
サイクリングを気軽に楽しもう	86
豊かな心を紡ぐアート	90
「い〜べ」がつなぐ、ふるさとの絆	94
第3部 「守ろう！」未来へつなげたい、さがみはらの魅力	102
力を合わせて、災害に強いまちづくり。	104
防災先進都市さがみはら	106
全国救急隊員シンポジウム	110
命をつなぐ相模原ルール	112
地域の急性期医療を担う	114
第4部 「広げよう！」未来へつなげたい、さがみはらの魅力	116
コラボで拓く、健やかで心豊かに暮らせる都市さがみはら	118
相模原市長インタビュー	
～未来へつながる～SAGAMIHARA	126
第5部 「伝えよう！」未来へつなげたい、さがみはらの魅力	130
さがみはら今昔物語	132
歴史でつながるさがみはら	138

— 未来へつながるまち —



豊かな森が清らかな水を生み、水が緑を育む、

命が循環する恵みの大地。

人々の心は潤いに満ち、活気あふれるまち。

——それが「潤水都市 さがみはら」。

未来へ向かう 72 万都市・相模原のシティセールスコピーです。

これを合言葉に、私たちはまちの魅力を発信します。

多くの人にそのすばらしさを知ってもらい、

たくさんの人に集まってほしい。

さがみはらが、一層魅力的なまちへと進化するために。

潤水都市 さがみはら 未来に向かう合言葉

Introduction

Sagamihara was the first city founded after the Second World War to become a government ordinance city* in April 2010, and celebrated its sixtieth anniversary in November 2014. Possessing natural surroundings that are among the richest in the greater Tokyo metropolitan area—including the Sagami River, Mount Jinba and Lake Sagami—Sagamihara has become a major urban area known for its fine transportation network.

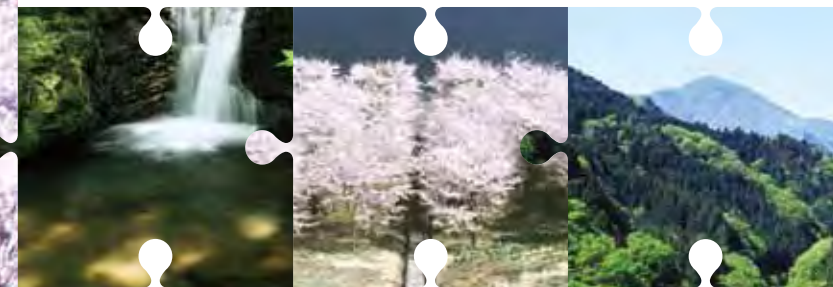
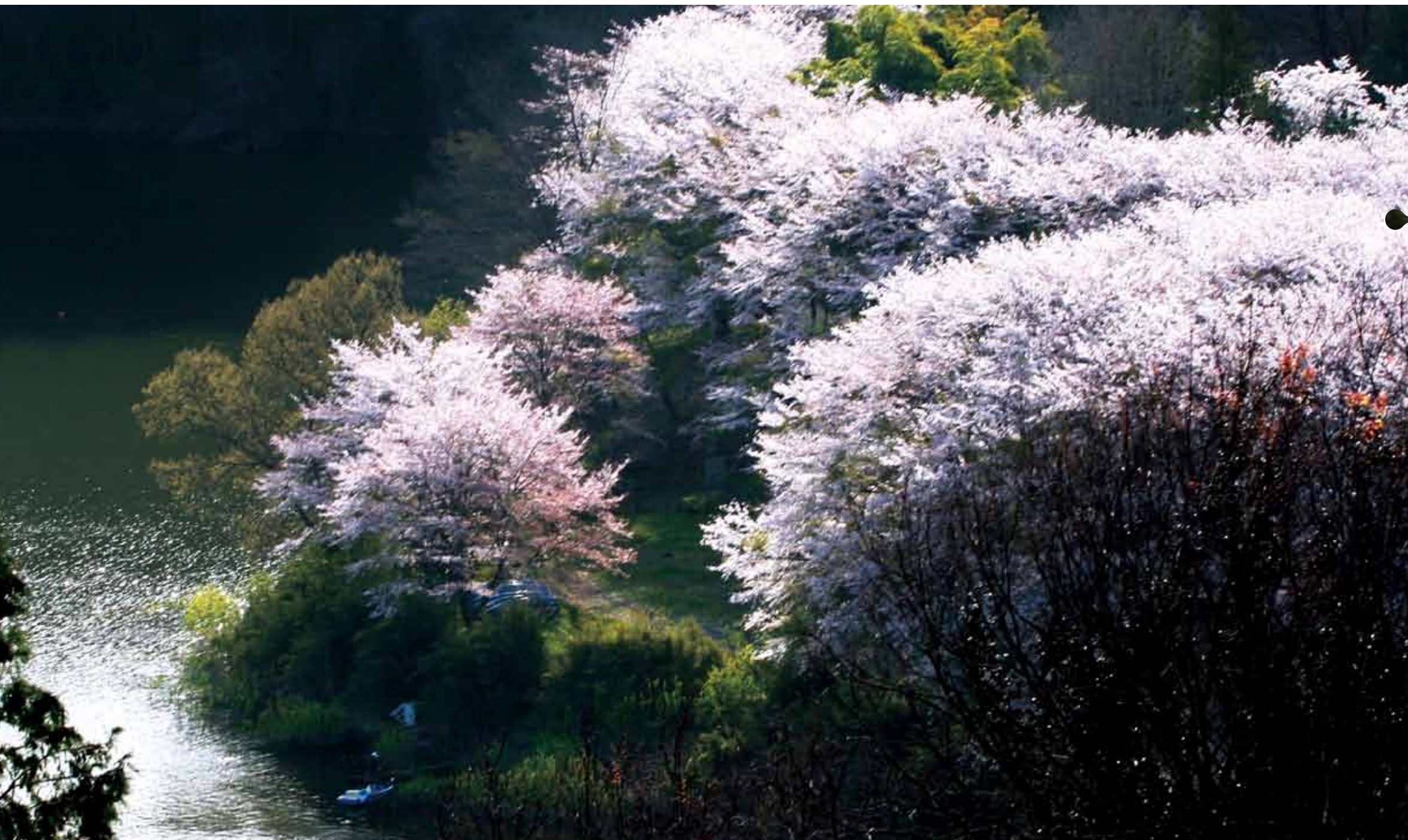
Sagamihara will continue to develop as a hub city serving a wider area in the greater Tokyo metropolitan area's southwest.

* This status gives the city some of the same governmental authority as a prefecture.

序言

2010 年 4 月、相模原市作为战后诞生的城市，第一次成为政令指定都市，2014 年 11 月，迎来了市制度施行 60 周年的纪念日。这里有相模川以及阵马山、相模湖等代表首都圈的丰饶的大自然，有方便的交通条件，以此为背景，作为都市功能的一大集聚地不断发展至今。相模原市，作为首都圈西南部的广域交流网点都市，将继续向前发展。





本物の自然が、 手の中に。

I ♥さがみはら。

このまちは、未来へ、次世代へ、
引き継ぎたい魅力や個性で満ちています。
それは“さくら咲く さがみはら”であり、
生命を支える森林、湖、渓谷、川…。
憧れの、本物の自然が手の中に。



CHUO
市民桜まつり

桜 + 人

さくらに集う喜び…

さくらを見て思い出を
分かち合う、重ねる

MINAMI
下溝古山公園

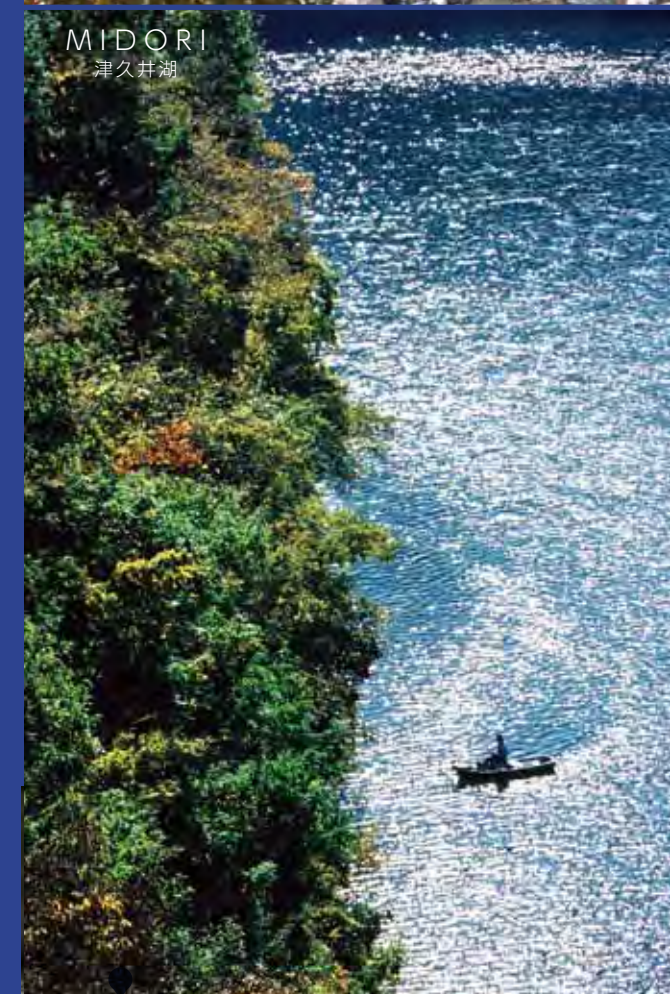
MIDORI
上大島キャンプ場



水 + 人
自然の恵みとレジャー



MIDORI
このまさわ



MIDORI
津久井湖



CHUO
相模川



MINAMI
相模川



さがみの潤水



都市の快適さが、 広げる暮らし。



人は社会や誰かと接し、関わり、向き合い、
つながることで活かれ羽ばたきます。
多くの人々が訪れ、生活し、働くまち。
人も心も、みんなもっとつながり、
笑顔がほころぶ快適なまちへ。
共にしあわせのピースを埋めていきましょう。





JR 横浜線・相模線
「橋本駅」
改札口

リニア中央新幹線「神奈川県駅」設置

橋本

MIDORI
HASHIMOTO

明日へ進化する

橋本は県内有数の広域拠点。JR横浜線・相模線、京王相模原線が乗り入れ、国道16号・129号・413号が交差します。市街地再開発事業などにより都市基盤が整備され、相模原市の魅力的な市街地の一つとして発展してきました。交通の利便性を生かし、内陸工業都市・さがみはらを担います。

駅の北口は情報・文化・人が行き交うまちづくりが進み、南口は大型商業施設や都市型住宅の整備が急速に進んでいます。また、積極的な誘致活動が実り、橋本駅付近にリニア中央新幹線の神奈川県駅が設置されることも決定。中部・近畿圏とつながることから熱い視線が注がれ、未来志向の都市開発計画による変貌が楽しみなエリアです。





相模総合補給廠一部返還
小田急多摩線延伸計画

JR 横浜線
「相模原駅」

相模原

安心とゆとりある文化・行政が
集積する都市



戦前の軍都計画に基づき大規模な土地区画整理が行われた相模原地区は、道路網が整備され整然とした街並みが特徴。市の表玄関として躍動感に溢れています。在日米陸軍相模総合補給廠の一部返還・共同使用により、相模原駅周辺は商業・業務施設、スポーツ・レクリエーション施設などを配置した、さまざまな人々が交流する広域交流拠点としてのまちづくりを検討中。相模原の新たな魅力の開花が期待されます。また、小田急多摩線の延伸計画もあり、広域交流拠点の形成を後押しします。



東京や横浜のベッドタウンとして栄えてきた相模大野。モダンな雰囲気漂う市の南の玄関口で、人口が区内で最も多いエリアです。米陸軍医療センター跡地にはグリーンホール相模大野や相模大野中央公園、都市型百貨店などがあります。駅ビル、百貨店に加え、西側地区の再開発により第3の核となる新たなランドマークとして、商業ゾーンや都市型住居などが入る大型複合施設がオープン。パスポートセンターやユニコムプラザさがみはら（市民・大学交流センター）など市民の暮らしに役立つ公共施設も新たに加わって、駅を中心に年々快適さが向上しています。





すぐそこにある、 憩いの空間。

心地よく整った公園、
身近に親しめる水辺や集いの場。
心が無心に遊ばせる、
気持ちをリフレッシュする、
仲間と触れ合える…。
さがみはらでは思い思いに楽しめる、
緑に彩られた憩いの空間が見つかります。



自然 + 人

子ども + 家族が
楽しめるまち

MIDORI
相模川自然の村公園
日だまりの池



相模原市は個性香る3区からなる、
政令指定都市です。



緑区

「大自然が身近に」

東部には工業や商業・業務機能などが集積。西部は森林や湖などの水源地が広がります。市全域のおよそ77パーセントを占める区。



中央区

「行政の中心地」

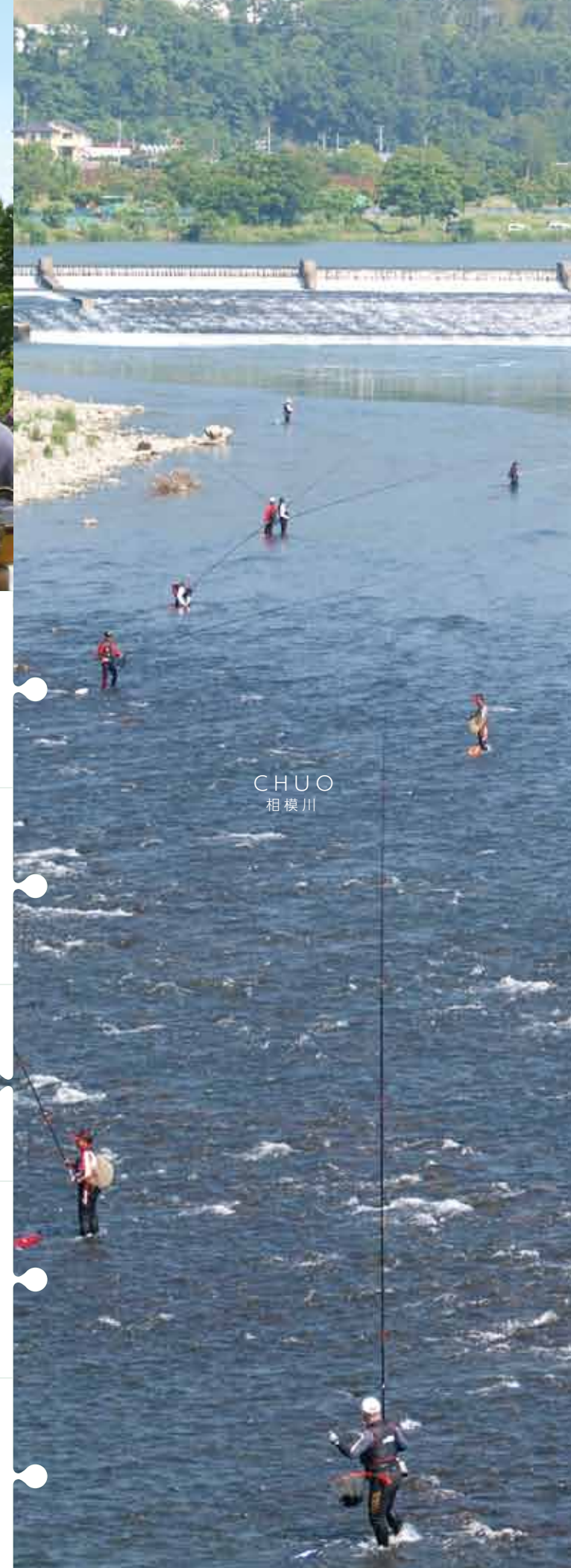
市役所をはじめ、税務署、裁判所など、市や国の主要な行政機関が集まる行政の中心地。研究・文化施設、大学も多い学術都市の顔も。



南区

「都市と自然を楽しむ」

大規模商業地として活気に満ち、公園や緑地などの憩いの場も充実。都市の快適さと自然、どちらも満喫できます。



自然は未来を担う子どもたちのすぐそばに

「潤水都市 さがみはら」
未来へつながるまち



県立相模原公園

潤水都市さがみはら生誕 60 周年、まだまだつながる



まだまだつながる
市制施行60周年

「見つけよう！」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 1
Discover!
The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

Sagamihara has several large-scale projects under way, such as the construction of the Metropolitan Inter-City Expressway (Ken-O Expressway) and other inter-regional trunk roads. The city is also building a new station for the Chuo Shinkansen linear motor line—which is expected to become a new transportation artery—near Hashimoto Station, and carrying out urban development focused on the portion of the Sagami General Depot site reclaimed from the U.S. military.

第1部
“发现！”
面向未来相模原の魅力

相模原市正在推进一些大型项目，例如首都圏中央联络高速公路（圏央道）等广域干线公路的整備促进，作为新交通动脉令人期待的磁悬浮中央新干线新站桥本站附近的设置、以相模补给总库部分返还地为中心的街区建设等。



市マスコットキャラクター
「さがみん」

まだまだつながる さがみはら TSUNAGARU



山梨県

神奈川県

相模原市
神奈川県

広域交流拠点の役割を担う

未来に
つながる
このまちと

リニア中央新幹線の建設

「広域交流拠点」としてのまちづくり

Linear



未来に
つながる
このまちと

圏央道の開通

「広域交流拠点」としてのまちづくり



未来に
つながる
このまちと

小田急多摩線延伸の構想

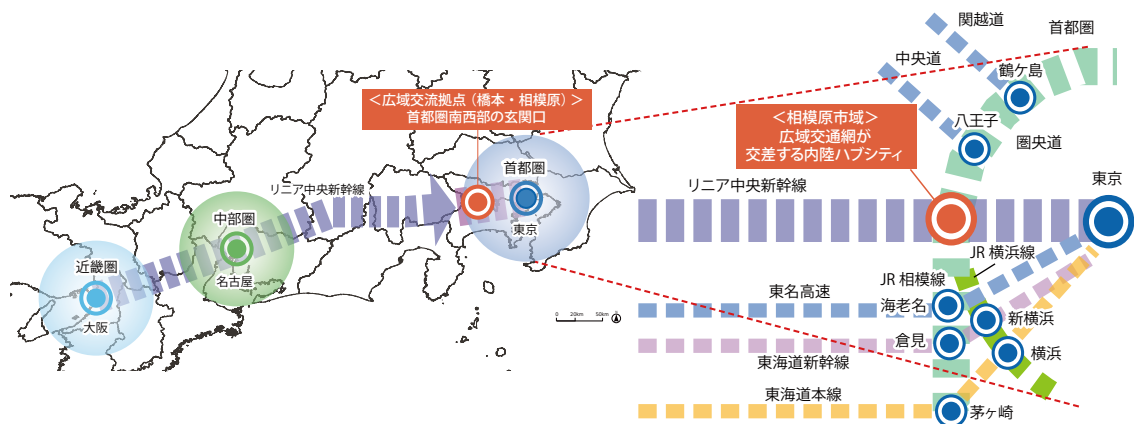
「広域交流拠点」としてのまちづくり



Odakyu

「広域交流拠点」

リニア中央新幹線の建設、圏央道の開通、小田急多摩線延伸の構想も進み、さらなる発展が見込まれる相模原市。首都圏南西部の玄関口として、東京都心や関西方面、湘南方面など、さまざまな圏域からの交通網が交差する広域交流拠点都市としての役割を担っています。

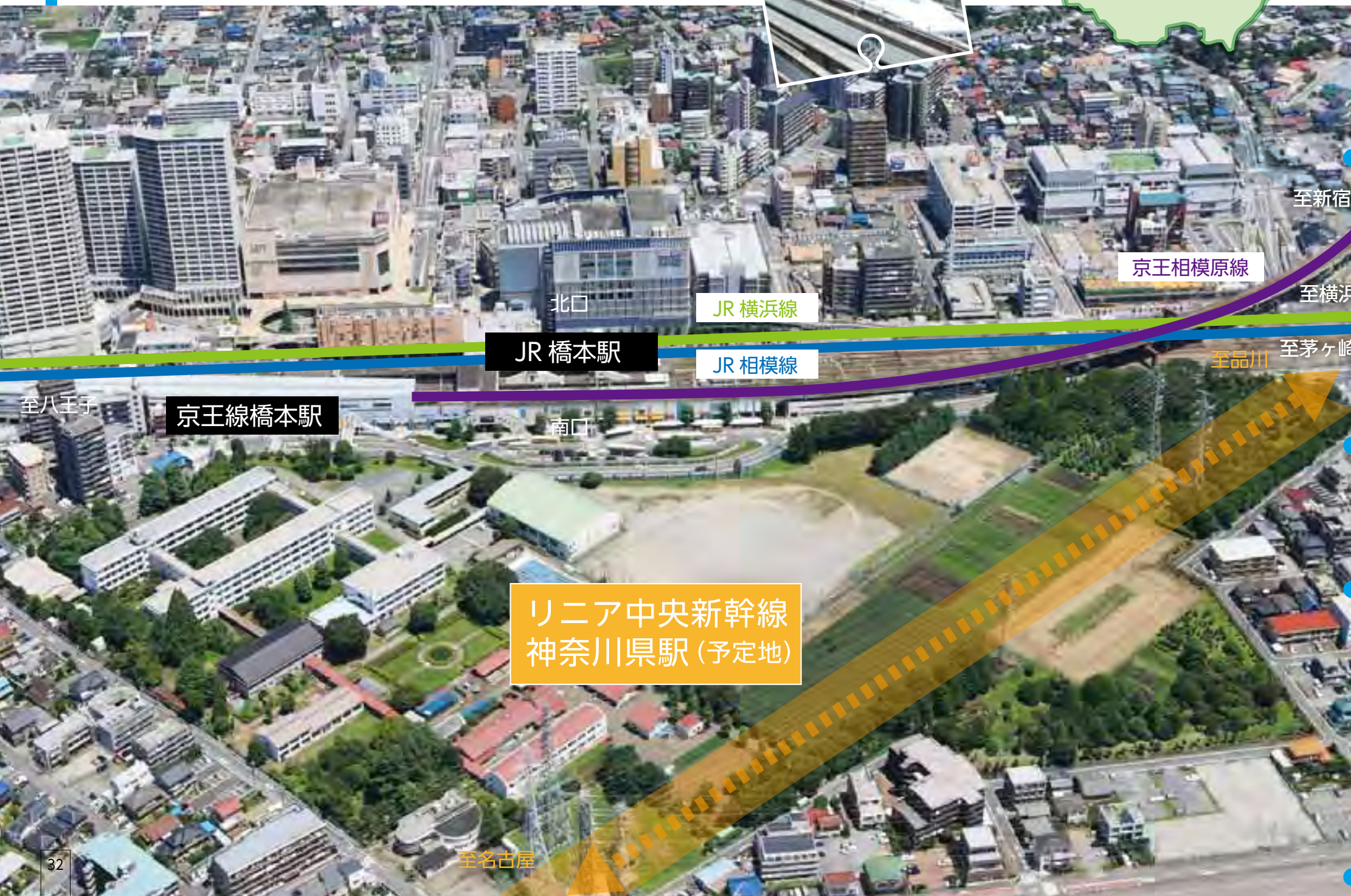


橋本駅付近に、

リニア中央新幹線の「神奈川県駅」ができる！

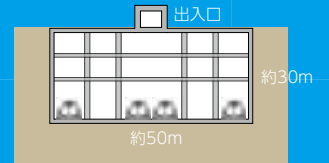
JR東海が発表した「環境影響評価準備書」により、計画が進むリニア中央新幹線のルートや駅などの概要が明らかになりました。

東京（品川）・名古屋間で設置される駅は、各県1駅。神奈川県駅は、相模原市が県と共に誘致してきた橋本駅付近に設置されることが決定。品川を出てから1つ目の駅となります。



神奈川県駅について

駅は、地下約30メートルに幅最大約50メートル、長さ約1キロメートル、面積約3.5ヘクタールの規模で、主な旅客施設は地下3階構造となる見込みです。地下3階には2面4線の島式ホームが設置されるほか、地下2階に入出口や旅客トイレなどが設置される予定です。JR東海では、地下1階や地上部については地元などでの活用を想定しています。



出典／中央新幹線（東京都・名古屋市区間）環境影響評価書

誘致合意ポイント

- 1 橋本駅周辺は、既に鉄道3線が乗り入れ、また、圏央道のアクセス性に優れ、より多くの県民の利用が見込まれること
- 2 橋本駅周辺におけるポテンシャルや土地利用転換の可能性から、将来のまちづくりの発展性が非常に高いこと



- 関越道
- 中央道
- 鶴ヶ島JCT
- 八王子JCT
- 高尾山IC
- 2014.6.28開通
- 相模原IC
- 2015.3開通予定
- 相模原愛川IC
- 2013.3.30開通
- 圏央厚木IC
- 海老名IC
- 東名高速
- 海老名JCT

圏央道でつながる

圏央道が、
新たなライフスタイルを生む。



相模原愛川IC～
高尾山IC間の開通で、
東名高速、中央道、
関越道が直結！



すぐそこに
たどりつく
TSUNAGARU



2027年へ

リニアがもたらす可能性とは…

橋本は、鉄道や国道の結節点。圏央道に開設予定の相模原ICからは5キロ圏に位置し、交通の利便性に優れています。

リニア中央新幹線の「神奈川県駅」ができることで、首都圏南西部の交流ゲートとして、新たな人の流れが生まれます。市では橋本駅周辺と相模原駅周辺の一体的エリアを中心とした広域交流拠点の形成をプランニング。

併せて近隣都市との連携により、圏域の発展をリードする、50年後、100年後を見据えた未来志向の「人や企業に選ばれる都市づくり」に取り組みます。

首都圏南西部の
交流ゲート

TSUNAGARU

大阪・名古屋
つながる



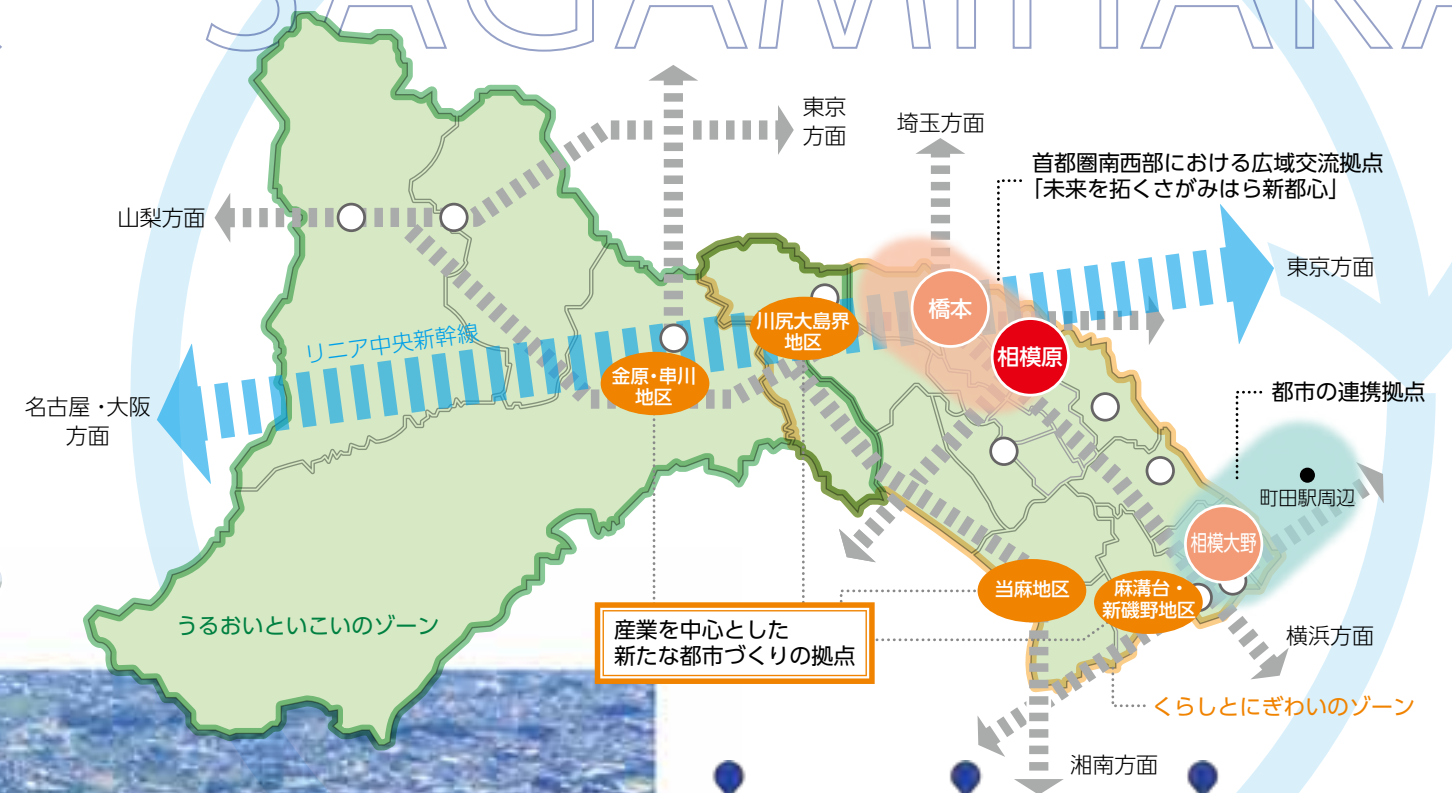
「リニア中央新幹線」計画！

最高時速505キロメートル、超高速で3大都市圏をつなぐ新たな交通動脈「リニア中央新幹線」。2027年の開業をめざして、東京（品川）・名古屋間の建設に向けた準備が進められています。全長286キロメートルの86パーセントがトンネルで、完成すれば東京・名古屋間を約40分で結びます。名古屋から大阪までは2045年に開通予定で、東京・新大阪間は約1時間に短縮されます。

Linear

まち
と
まち

A photograph of a blue and white train, possibly a Shinkansen, moving on tracks. The train is angled towards the right. In the background, a cityscape with buildings is visible. The photo is mounted on a blue textured background with white circular cutouts.



至八王子



37

小田急多摩線延伸で、 広がるネットワーク

相模原市ではさらなる広域交通網の実現のため、
小田急多摩線の上溝までの延伸、田名地区を経由し愛川・
厚木方面までの延伸の実現をめざします。



小田急多摩線延伸促進協議会
マスコットキャラクター「ロマンくん」



広域交通網でつながる

ODAKYU TAMASEN





- 関越道
- 中央道
- 鶴ヶ島JCT
- 八王子JCT
- 高尾山IC
- 2014.6.28開通
- 相模原IC
- 2015.3開通予定
- 相模原愛川IC
- 2013.3.30開通
- 圏央厚木IC
- 海老名IC
- 東名高速
- 海老名JCT

圏央道でつながる

圏央道が、
新たなライフスタイルを生む。



相模原愛川IC～
高尾山IC間の開通で、
東名高速、中央道、
関越道が直結！



すぐそこに
たどりつく
TSUNAGARU





圏央道
相模原愛川IC
相模原IC

インターチェンジ周辺で進む
産業拠点づくり

産業用地創出に向けた拠点整備

【相模原愛川IC周辺】

当麻地区

圏央道相模原愛川IC周辺の立地特性を生かし、産業を中心とした複数の都市機能による、環境と共生した新たな都市づくりの拠点を形成します。

麻溝台・新磯野地区

周辺に大規模な公園や教育施設がある地区。新たな産業用地の創出や良好な住環境の形成など、産業・みどり・文化・生活が融合した魅力ある都市づくりの拠点を形成します。

【相模原IC周辺】

川尻大島界地区

津久井広域道路に隣接する5.7ヘクタールの地区。
周辺環境に調和した潤いや個性が感じられる新た
な都市づくりの拠点を形成します。

金原・串川地区

津久井広域道路の整備で利便性がアップ。新たな拠点の形成に向け、基本構想の実現化方策の検討に取り組んでいます。



利便性が
アップ

圏央道がもたらすものとは？

圏央道相模原愛川IC～高尾山IC間の開通により、都心を経由せず東名高速、中央道、関越道が直結しました。

このことは地域経済の発展、市民の豊かな暮らしにつながります。

相模原愛川ICの完成で、
交通の円滑化と幹線道路の混雑緩和、
災害時の緊急輸送路の確保なども見込まれています。

利便性

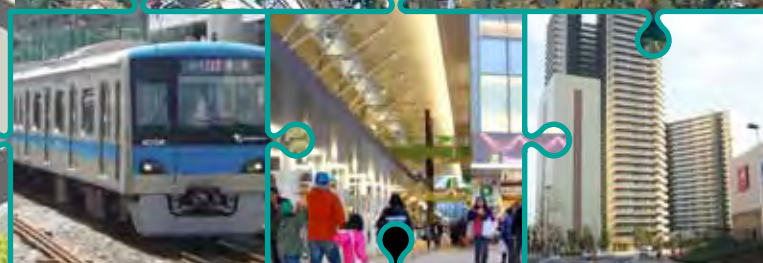
UP

産業



圏央道を生かす
産業用地の創出を、
宅地整備を。

相模原愛川 IC

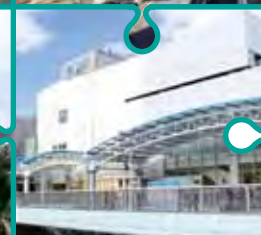


新時代を見据えた、 人や企業から選ばれる都市づくり

交通ネットワークの発達で、相模原市は、首都圏という一大消費地の玄関口に。その好立地を生かし、物流関係企業の大規模倉庫などの建設が進み、新たな雇用も生まれています。また、研究施設や理工系大学が多く、産学連携などの素地もあります。『さがみロボット産業特区』（圏央道沿線10市2町）の一翼を担っており、研究開発型企業の集積も期待できます。今後は多様な業種の技術と技術を結び、新たなものを生み出すという大きな産業の流れをつくりたい…。そのために、産業用地の創出や住宅地の整備などに取り組んでいます。



テクノパイル田名
工業団地



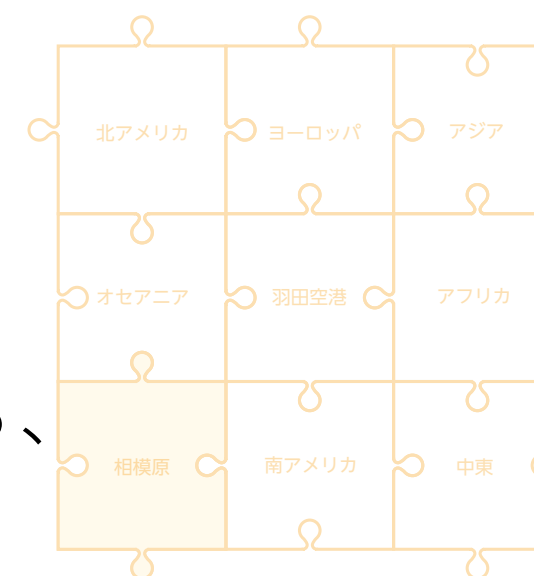


国際都市さがみはら



羽田空港から、 世界へ。 さがみはらへ。

相模原市は都心から40キロメートル圏内。
国際空港として充実する羽田空港までは約65分です。
将来は、広域交通網の充実やリニア中央新幹線の開通で
さらにアクセスは快適に。軽快なフットワークで、
海外とつながります。
商業や観光などの分野で外国から多くのお客様を迎えるために、
まちの魅力を効果的にアピールすることや、外国人にやさしい
“国際都市さがみはら”への進化が求められます。



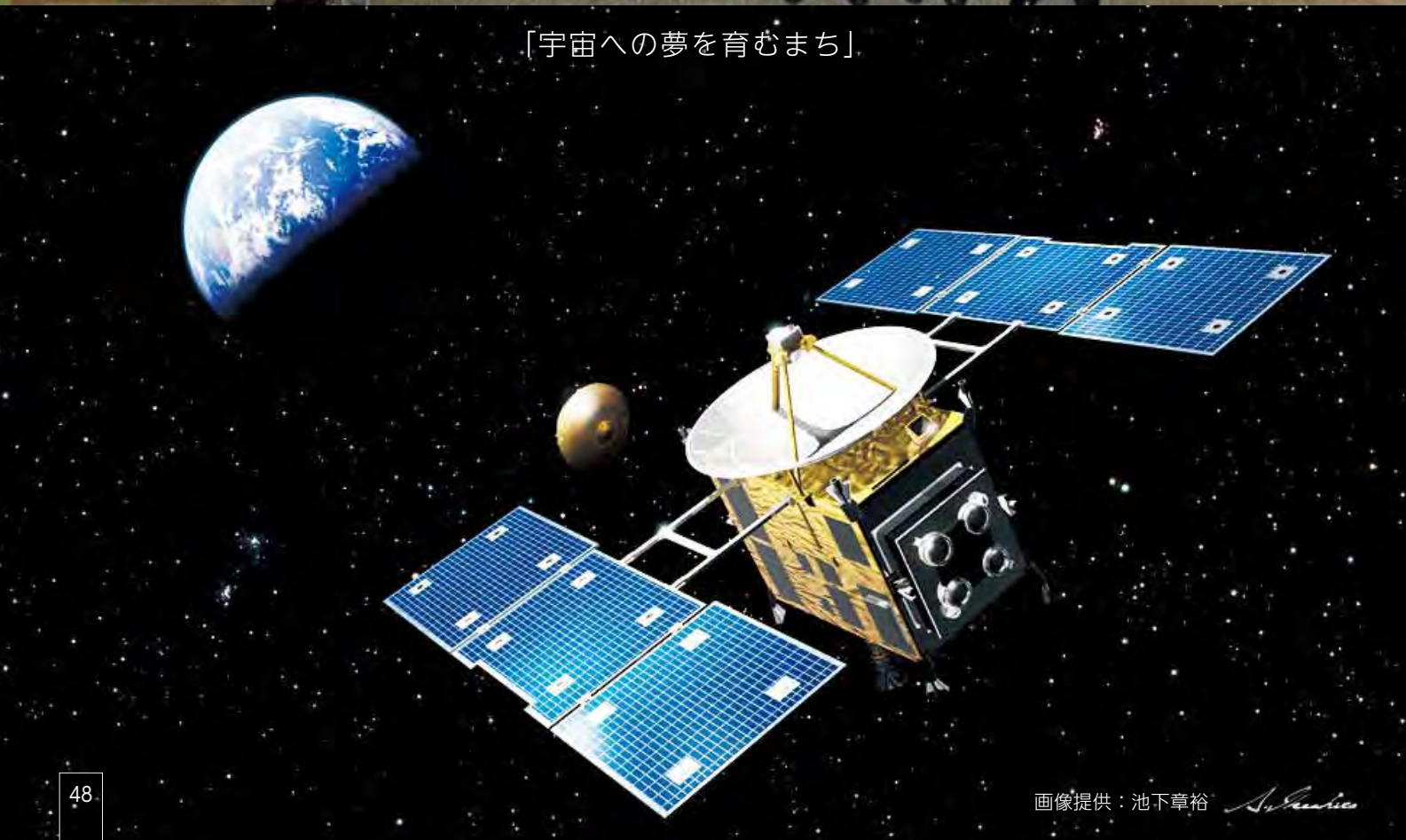
相模原⇄羽田空港 約 65 分





ロマンでつながる

「宇宙への夢を育むまち」



画像提供：池下章裕

JAXA × はやぶさ × さがみはら 未来へ、宇宙へ、羽ばたく。

無限に広がる未来に向けて、活力と希望に満ちたまち“さがみはら”。
小惑星探査機「はやぶさ」の故郷として、子どもたちのまばゆい夢を
乗せて、未来予想図は宇宙へと広がります。



みんな宇宙が大好き！



まだまだつながる
市制施行60周年

「楽しもう！」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 2

Enjoy!

The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

Sagamihara has established eight key programs—cherry blossoms, nature, water, space, sports, bicycles, art and future community development—under the basic philosophy “Love Sagamihara” to promote its appeal and regional resources to the rest of Japan.

第2部

“快乐！”

面向未来相模原的魅力

相模原市为了推进向日本全国宣传街区魅力与地区资源的活动，根据基本理念——“爱你，相模原”，确定了樱花、自然、水、宇宙、体育、自行车、艺术、将来街区建设等8个重点战略，积极贯彻落实。

みんなが
誇れるまち
さがみはら



市マスコットキャラクター
「さがみん」



8つの視点から、 さがみはらの魅力に迫る！

TSUNAGI ARU

恋せよ

さがみはら

さがみはら
×
未来物語

2014.10.31・11.1
つなぎ、つくり、つたえる、街の未来
～地域活性化マーケティングを学ぶ～

「全国シティプロモーションサミット」

人口減少をはじめ、自治体を取り巻くさまざまな課題がある中、地域ブランドの育成など地域の魅力づくりに取り組む全国123の自治体が相模原に集まり、先進事例の紹介や将来の展望を話し合いました。

さがみはら × さくら

市内各所に桜の名所が点在。市民が桜に愛着を持ち、さがみはらと言えば「桜」をイメージできるまちへ。

さがみはら × 自然

豊かな自然と都市の快適さを併せ持つ「潤水都市さがみはら」。思い思いに自然との触れ合いを楽しめるように。

さがみはら × 水

さがみはらは5つの湖がある神奈川県の水がめ。水源地域を保全・活用し、「水」を大切に作るまちづくりを。

さがみはら × 宇宙

小惑星探査機「はやぶさ」のふるさと故郷として、宇宙を身近に感じるまちづくりを。

さがみはら × スポーツ

さまざまなスポーツを楽しめる施設のあるさがみはら。ホームタウンチームとの連携などで、スポーツが盛んなまちづくりを。

さがみはら × 自転車

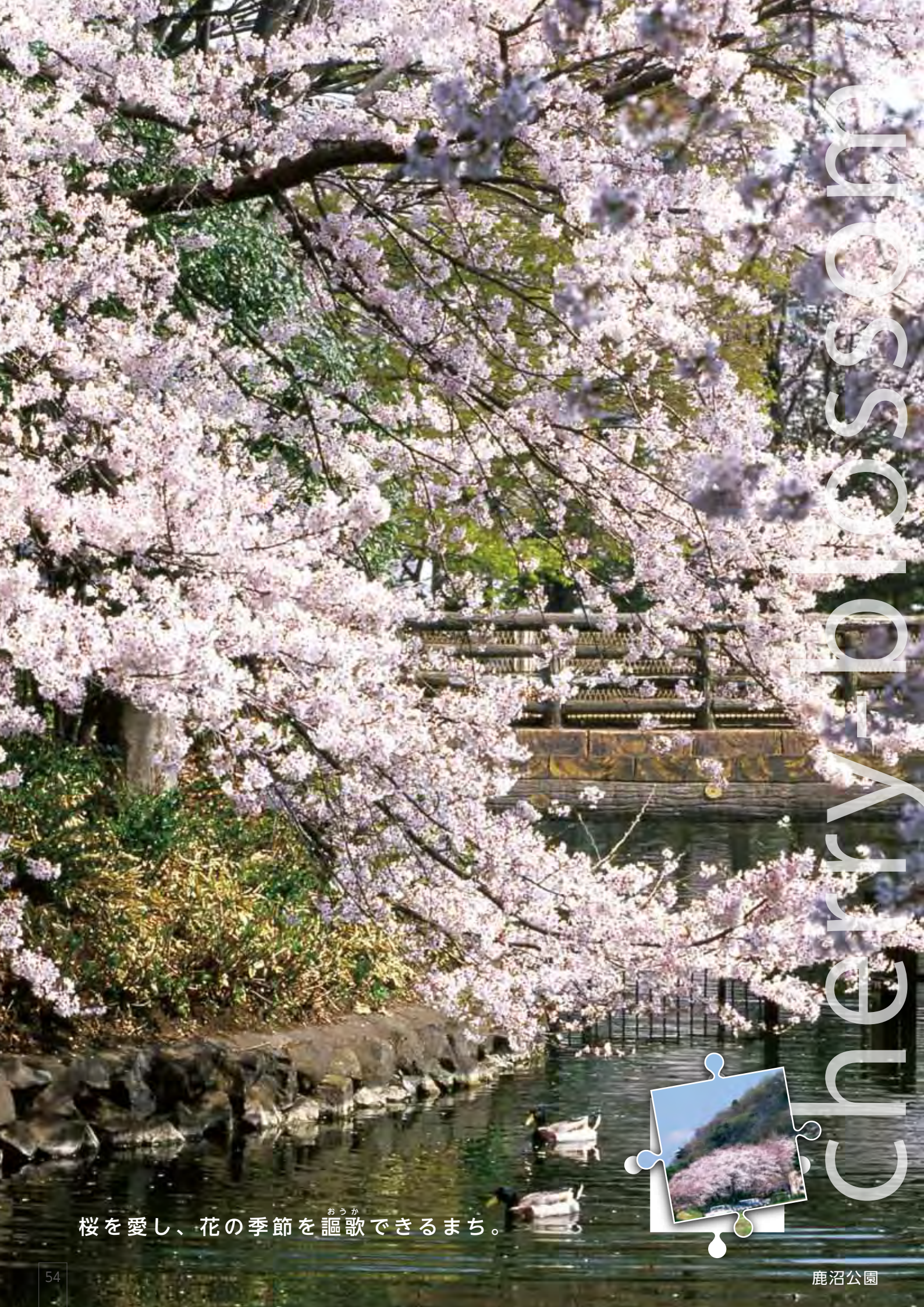
サイクリストが愛する名所のあるまち。快適に安全に自転車を楽しめる環境をつくり自転車のまちへ。

さがみはら × アート

周辺の美大生や芸術家と連携し、アートを感じ、実践し、育てるアートのまちへ。

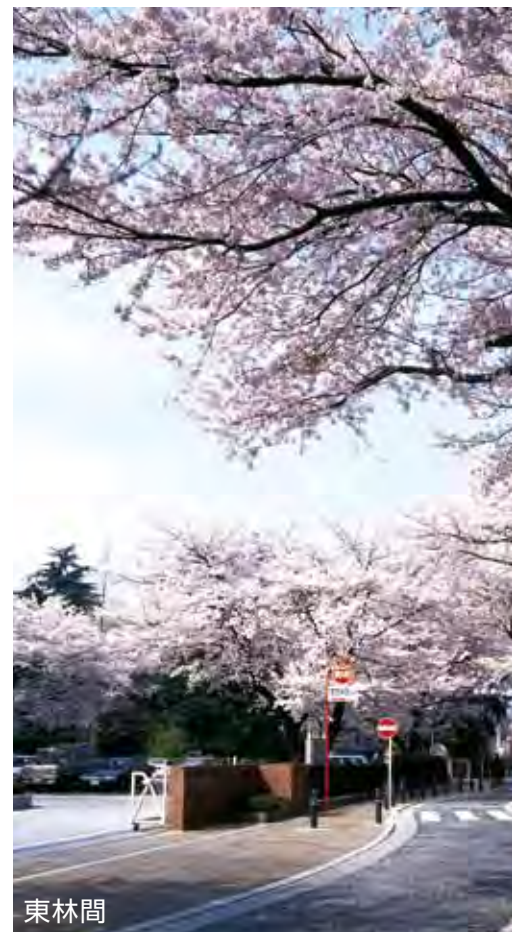
さがみはら × I・ve (い〜べ)

新たな地域資源を発掘・創造、まちの魅力を最大限に活用。「人や企業から選ばれる都市」へ。
※I・ve (い〜べ) とは方言で「いいですね」の意



桜を愛し、花の季節を謳歌できるまち。

鹿沼公園



東林間



さがみの仲よし小道



桜並木通り

まちのあちこちを薄紅色に染め、
フレッシュスタートの春を
やさしく見守ってくれる桜。
花曇りのけむるような表情、艶やかな夜桜、
満開から一気に散りゆく潔さ…。
子どもの頃には気付かなかった魅力です。



西門



横山公園

TSUNAGARU
さくらが結ぶ し・あ・わ・せ、

さがみはら自慢の桜、
今年は誰と一緒に愛でましょうか。



大島

桜の名所を守って 明日へ引き継ぐ

さがみはらには、
市役所さくら通り、大島、八景の棚、
津久井湖、石老山など、
数々の桜の名所があります。



青根



水郷田名



木もれびの森



「がくどう 琴堂桜」がつなぐ、
ワシントンと
さがみはらの絆

尾崎琴堂記念館



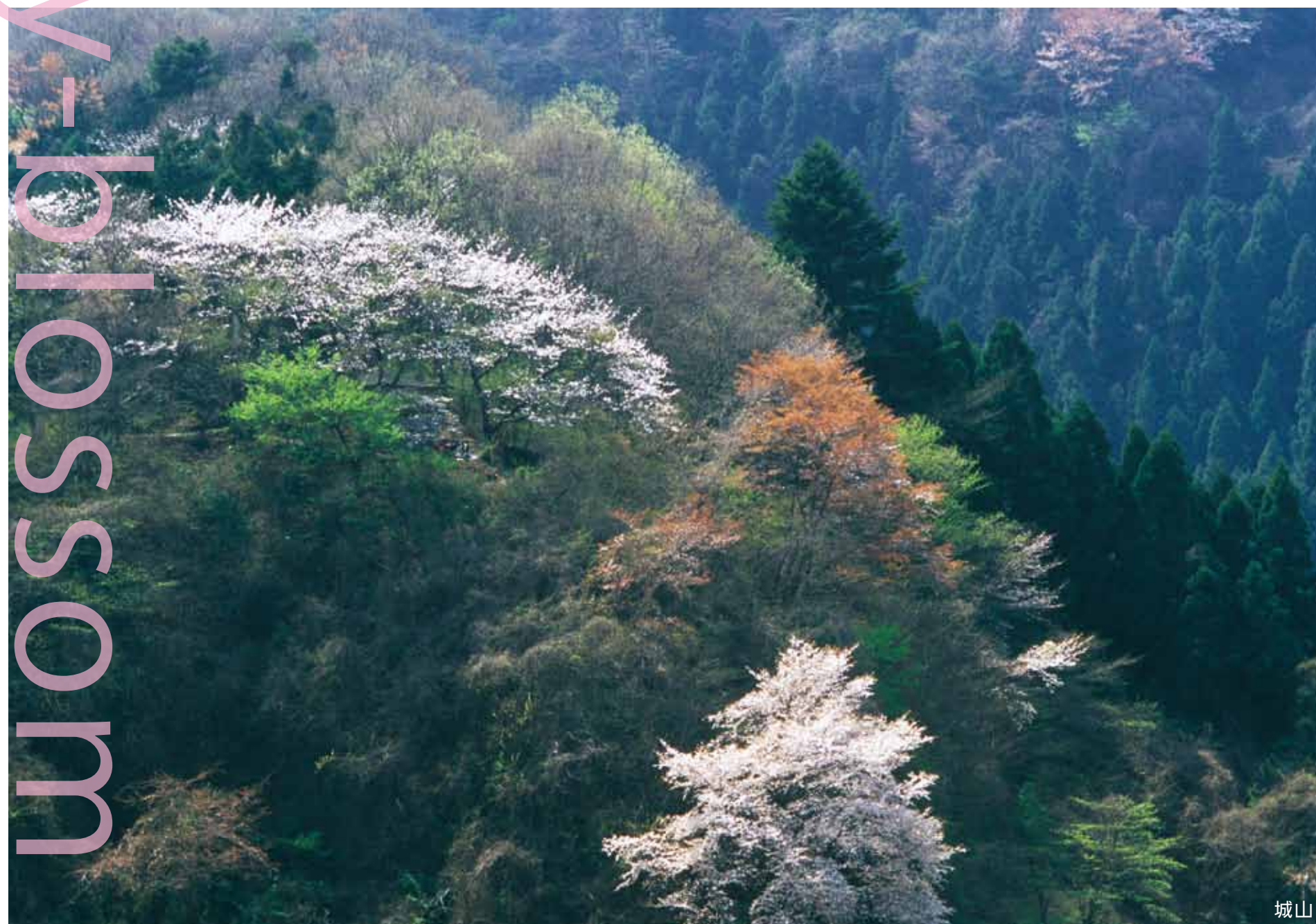
鹿沼公園



芝ざくらライン

みんなの協力で生まれた「相模川芝ざくら」

「芝ざくらライン」の愛称を持ち、約1.4キロメートルと
日本一の長さを誇る相模川芝ざくら。相模川の環境を守るため、
市民ボランティアや地元企業の協力で植栽されました。



城山

Nature

TSUNAGARU

引き継ごう、ピュアな自然。



青根緑の休暇村





さがみはら
×
自然

自然×人

子どもたちへ、孫たちへ、
大切につなげていきたい。

週末は緑のそばで、大自然の中でのんびりと…。
うっそうと茂る森から、きれいに整えられた公園まで、
清々しい生命の息吹を感じさせてくれます。
心と体を潤してくれる素晴らしい自然を
そのままに次の世代へ。



県立相模原公園



相模原北公園



道保川公園

Green 手を伸ばせば、 やすらぎの緑。



相模原北公園



茶摘み (佐野川)



自慢の自然を、五感で味わおう。

大自然の懷は、気軽に楽しめるハイキングコースやビュースポットがたくさん。心地よい疲労感を最高の眺めが癒し、人も自然の一部だと感じさせてくれます。さらに足を延ばせば清楚なシロヤシオの花や天然記念物のギフチョウなどの貴重な出会いも。

陣馬山



週末は緑のそばで、
大自然の中で。

さがみはら
×
自然



県立津久井湖城山公園



相模川自然の村

Four seasons 四季

移ろう季節の一瞬の輝き、見逃さない！

川面にせり出す桜の美しさにうっとりする道志川の春。

入道雲と青空を映す相模川の夏。

ざるを逆さまにしたように咲き誇る“ざる菊”は、
新磯地区の秋の風物詩。

雪の降り積もる、木もれびの森で見つけた静寂の世界。

どれも、その季節だけのとっておきの表情。

さがみはら市民の宝物です。

道志川

新磯のざる菊

相模川

木もれびの森

Water

ハートを、大地を潤す恵みの水。



市マスコットキャラクター
さがみん

津久井湖

奥相模湖

相模湖

城山湖

宮ヶ瀬湖

Lake 湖

水<湖

見とれてしまう、5つの湖。

豊かな森林の中に点在する
相模湖、津久井湖、奥相模湖、宮ヶ瀬湖、城山湖。
どれもダムによりできた湖で、
神奈川県民の命を支える貴重な水がめ。
木々に縁取られたその景観は、
吸い込まれそうに美しい。



相模川



道志川



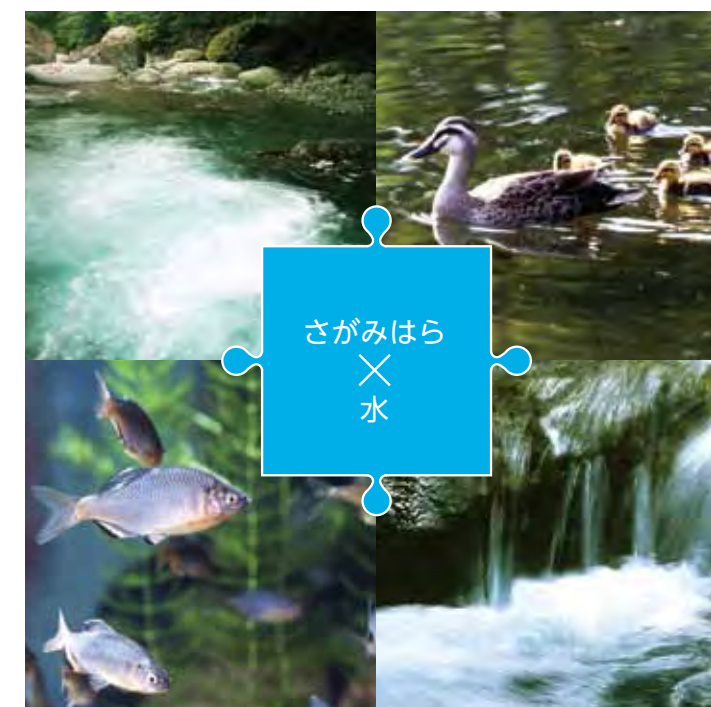
神之川

River 川

水<川

さがみには
自慢したくなる川がある。

太古より恵みをもたらす母なる川、相模川。
山々のはざまを縫うように流れる道志川。
緑の谷間を支流を集めて流れる神之川。
夏でも手をさすような冷たさです。



さがみはら
×
水



エビラ沢の滝



相模川（帆かけ舟の実演）



Water Leisure

水×レジャー

川や湖、自然との一体感を味わう。

ホテルの乱舞に釘付けになる秘密の場所、
釣りやボート、キャンプ、川遊び…。
大人も子どもも夢中になる水辺レジャー。
子どもたちのはしゃぎ声が、
絵日記の幸せの1ページを飾ります。



さがみはら
×
水

相模原
生まれの
天然水

さがみの潤水

緑区青野原の豊かな水源地帯。
ここは、津久井の森が育んだ
ナチュラルウォーター
「さがみの潤水」の採水地。
売り上げの一部は水源の
環境保全などに還元されています。



さがみはらは、「はやぶさ」の故郷。^{ふるさと}

小惑星「イトカワ」とランデブー、 感動を呼んだ「はやぶさ」

「はやぶさ」は JAXA 相模原キャンパスで生まれた小惑星探査機。
2003 年 5 月、小惑星「イトカワ」探査のためロケットで打ち上げられました。
イトカワの表面サンプルを採取し 2007 年に帰還する計画は、
航行途中に数々のトラブルに見舞われましたが、
苦難を乗り越え 2010 年 6 月に帰還を果たしました。
月以外の天体へ着陸・往復したのは世界初の快挙です。
「はやぶさ」が持ち帰ったカプセルの市立博物館での一般公開には、
全国から 3 万人もが駆け付けました。
その感動のストーリーに多くの人が胸を熱くし、
宇宙へのロマンに浸りました。

Space

ひらかれる^{そら}宙への扉

小惑星「イトカワ」探査の旅から、
数々の苦難を乗り越え帰還した
小惑星探査機「はやぶさ」は人々に感動と勇気を与えました。
さがみはらは、はやぶさの故郷^{ふるさと}でもあり
宇宙開発・研究の拠点。
宙へのロマンを育む、夢の扉が開いています。



「はやぶさ」の後継機 「はやぶさ2」打ち上げへ

JAXAが「はやぶさ」の後継機として開発した「はやぶさ2」は、地球近傍小惑星へ着陸しサンプルを持ち帰る計画です。めざすのは、炭素でできたアポロ群の小惑星。有機物が存在する可能性があり、ミッションが成功すれば生命の起源に新たな論説をもたらすことになります。

順調にいけば「はやぶさ2」は2014年11月末に打ち上げ、2018年に小惑星に到着、2020年に地球へ帰還する予定です。



さがみはら
×
宇宙

JAXA×さがみはら

宇宙科学研究の最前線基地 「JAXA 相模原キャンパス」

丹沢山地を望む緑に囲まれた静かな環境の中に、“宇宙研”と市民に親しまれる宇宙航空研究開発機構（JAXA）の施設「相模原キャンパス」があります。

ここは、1989年4月にJAXAの前身である宇宙科学研究所の中核として開設。敷地内には研究・管理棟、研究センター、特殊実験棟などの施設があり、宇宙科学研究の重要拠点。科学衛星や惑星探査機の打ち上げ、太陽の活動や月・惑星、ブラックホール、銀河の成り立ちなど宇宙の謎の解明に取り組む、宇宙へつながる最前線基地です。



銀河連邦×さがみはら

6つの自治体が交流する「銀河連邦」

銀河連邦は、1987年11月8日に誕生。宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究施設がある縁で、4市2町の自治体が連邦国家を組織し、それぞれを共和国、首長を大統領と呼ぶのが特徴です。相互の発展と宇宙へのロマンを育むため、子ども留学交流事業をはじめ、スポーツ交流や経済交流、銀河連邦フォーラムの開催などを通じて友好を深めています。また、阪神・淡路大震災の発生を機に、災害時の相互応援協定を締結。東日本大震災の発生直後から、銀河連邦の一員であるサンリクオオフナト共和国（大船渡市）や仙台市など、震災により被害を受けた地域に対し、積極的に救助活動や物資・義援金・人的支援などを実施。その活動は高く評価されました。

ここは、夢とロマン
きらめく「銀河連邦」



タイキ共和国 (北海道大樹町)

北海道の東部、十勝の南に位置し、西は日高山脈分水嶺、東は太平洋に面しており、町の中央を横断して太平洋へと注ぐ歴舟川は、「水の郷百選」に選定された清流です。農業や漁業のほか、冷涼な気候により酪農が盛んで、おいしい牛乳がチーズとなって全国に届けられています。

ノシロ共和国 (秋田県能代市)

秋田県北部の日本海側に面しており、母なる米代川が中心部を流れ、世界自然遺産の白神山地を北に望み豊かな自然に恵まれています。かつては「東洋一の木都」として称され、現在でも木工芸品などのさまざまな木製品が製造され、代表的な産業となっています。

サンリクオオフナト共和国 (岩手県大船渡市)

岩手県の沿岸南部に位置し、リアス式海岸が織り成す美しく雄大な三陸の大自然に恵まれています。また「国の名勝・天然記念物」に指定されている磐石海岸や三陸沿岸の最高峰五葉山など見どころ満載です。サンマやホタテ、カキ、ワカメといった三陸の海を代表する新鮮な海産物が味わえます。

サガミハラ共和国 (神奈川県相模原市)

神奈川県の北部に位置し、ショッピングやグルメ、文化等が楽しめるアクティブなまちの一面と丹沢山系に連なる山々や相模川と5つの湖が織り成す美しい自然環境を併せ持つまちです。新たな交通動脈として期待される「リニア中央新幹線」の駅設置が予定されており、首都圏南西部をリードする広域交流拠点として発展し続けています。

サク共和国 (長野県佐久市)

長野県の東部に位置し、中央には多くの文学者がその魅力にとりつかれた清流千曲川が流れ、四方には雄壮麗麗な浅間山、ハケ岳、蓼科山、荒船山を望みます。日本有数の高級米である五郎兵衛米を生み出す豊かな田園地帯、秋にはりんご、ブルーベリー、桃などフルーツの香りに包まれる豊かな自然が自慢です。

ウチノウラキモツキ共和国 (鹿児島県肝付町)

鹿児島県の大隅半島南東部に位置しており、中央には標高900m以上の肝属山系を形成し、南東部はその急峻な山脈がそのまま太平洋に落ち込む美しい海岸線が50kmにも及び豊かな海の資源を育んでいます。県内トップクラスの漁獲を誇る伊勢海老のほか、ポンカン、タンカン、マンゴーなどが特産品です。

絆

東日本大震災・復興支援



戸田公明大船渡市長から被害状況等の説明を受けました。



ヒーローに
つながる？

2XXX年の彼方から、 銀河連邦ヒーロー参上！

銀河連邦ヒーローは、子どもたちの夢と宇宙開発を
応援するために未来の銀河連邦からやって来ました。

「銀河連邦ヒーロー」は、銀河連邦友好交流25周年を機に登場したキャラクターで、各キャラクターの名前に入っている「～(ミ) リオン」は6自治体の総人口100万人(＝ミリオン)から名付けられました。



【キャラクター紹介】サガミリオン
サガミハラ共和国（相模原市）で主に活動。トレードマークである胸のデザインは、相模原市の形が描かれている。テーマカラーは、青とオレンジ。
好きな場所：桜が満開の相模原市役所通り、JAXA 相模原キャンパス
好きな言葉：はやぶさ、希望
武器：どんな困難にもあきらめない心



宇宙×イベント
心に刻もう、語り継ごう！
はやぶさ伝説。

06.13
はやぶさの日

「あきらめない心を伝える」

2010年6月13日、小惑星探査機「はやぶさ」は、幾多の困難を乗り越えて地球に帰還し、多くの人々に感動と勇気を与えました。

その偉業を称え、「銀河連邦」では、「はやぶさ」の開発・運用に関わった人々の「あきらめない心」「努力する心」を全国の皆さんに伝え続けていこうと6月13日を「はやぶさの日」（日本記念日協会認定）と制定しました。

画像提供：池下章裕

Hayabusa



さがみはら
×
宇宙



はやぶさ給食

2012.5.21 AM 7:38
「173年に一度の金環日食」
市内の全小学校72校4万人
みんなで一斉に観察

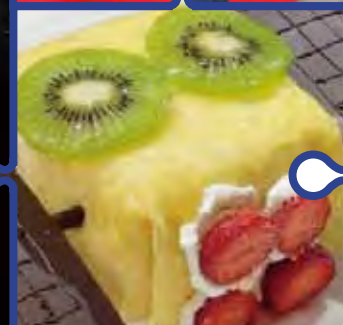


2014.6.7～6.15
はやぶさウィーク

「はやぶさ2」にエール！

小惑星探査機「はやぶさ」の後継機となる「はやぶさ2」は、2014年11月末に打ち上げられる予定です。

相模原市では銀河連邦が制定した「はやぶさの日」に合わせ、6月7日～15日に「相模原はやぶさウィーク」を開催。JR淵野辺駅の発車メロディー「銀河鉄道999」のお披露目イベントでは銀河連邦ヒーローの握手会も。また、市立小・中学校で「はやぶさ給食」を味わい、市立博物館の「プラネタリウムはやぶさ週間」など、市内各所で多彩なイベントを開催。みんなで楽しむことで、「はやぶさ2」の打ち上げを応援しました。



さがみはらは、スポーツと身近に接することができるまち。
ホームタウンチームを応援するの、
自然を活かした競技や、さまざまなスポーツで汗を流すのも、
手軽にサイクリングと親しむのも自在。
思い思いにスポーティーで健康的な暮らしをデザインできます。



アメリカン
フット
ボール

ホーム
タウン
チーム



ノジマ相模原ライズ



相模原から、日本一へ！
前身チーム（オンワードオックス）のスポンサー撤退により、2009年相模原の地で新チームとしてスタート。“Fearless.”を合言葉に日本一を勝ち取り、相模原のシンボルとなるチームをめざします。

ラグビー

ホーム
タウン
チーム



三菱重工相模原ダイナボアーズ



めざせ！悲願のトップリーグ昇格
相模の原野をダイナミックに疾走するボアー（イノシシ）が、“ダイナボアーズ”の名のもとに結束。世界的な大スターもチームに加わり、世界トップクラスのプレーを観戦できます。



SC 相模原



SPORTS CLUB ★ ★ ★ ★ ★
S.C.SAGAMIHARA



念願のJリーグの舞台へ

チーム発足7年目。今シーズンは、Jリーグに新設されたJ3リーグに市内初のJリーグチームとして参戦。チームは若手中心で勢いいっぱい、優勝をめざして“闘走”します。



ノジマステラ神奈川相模原



Nojima
Stella
KANAGAWA



今年はなでしこ昇格の勝負の年

2012年、神奈川県内初のなでしこリーグ昇格をめざして発足。ステラとはイタリア語で星の意味。走るサッカー、丁寧なサッカーで、神奈川の、さがみはらの星となり輝きます。



自転車×自然

緑区は
人気のサイクリングフィールド

山や湖に囲まれた緑区西部は、自転車愛好者に人気のフィールドです。アップダウンが多く、トレーニングに最適。また、自転車ラックを設置したカフェやサイクルステーションがある、温泉で汗を流せるなど、サイクリストにやさしい環境が整っています。
昨年は、参加者それぞれが体力に合わせて完走をめざす「ツールドふじのチャレンジライド2013」を開催。自転車愛好家として知られる元F1レーサーで、相模原市の名誉観光親善大使・片山右京さんが大会の会長を務めました。



片山右京さん





自転車×街

自転車ライフに、
やさしいまちづくり。

通勤の足に、まちの移動手段に、スポーツに。環境にやさしく健康的で、渋滞緩和にもつながると、自転車が注目されています。相模原市内では安全・安心のため、国道16号沿いなどに自転車レーンを整備。今後も自転車ライフを楽しめる環境づくりを進めていきます。



自転車がつなぐ

Art

豊かな心を紡ぐアート

芸術文化をこよなく愛するさがみはら。
大空の下での現代アート展示、総合写真祭など、
誰もが気軽に芸術と触れ合える取り組みを行っています。
また、子どもたちが遊びながら
創造力や豊かな心を紡ぐプロジェクトにも注目です。



アートで
TSUNAGARU



「アートラボはしもと」



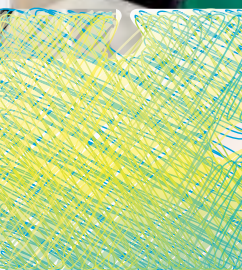
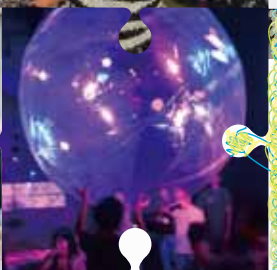
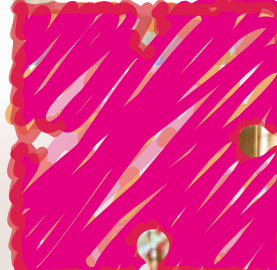
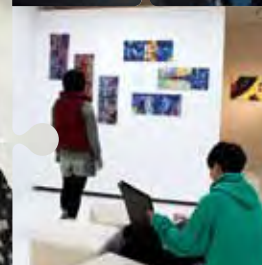
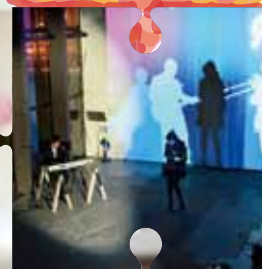
周辺に複数の美術系大学があり、多くの美大生が暮らす相模原市。「アートラボはしもと」は美術系大学と連携し、美大生と子どもたち、地域、企業などが協力し合ってアート事業を展開する活動拠点。作品展示、ワークショップ、イベントなどの活動を通じて、アートによるまちづくりを進めています。

「相模原市民ギャラリー」



JR相模原駅の駅ビル4階にあり、気軽に芸術の風を感じられる市民ギャラリー。絵画、彫塑、書、写真、陶芸、生け花、現代芸術など、市民の創作活動の発表の場となっています。また、相模原ゆかりの作家を紹介する展覧会なども開催しています。

身近にアートを感じ、芸術を愛する心と創造力を育む。





野外彫刻作品



芸術のまち藤野。

藤野地区名倉を中心に、山裾に、小道の脇に、畑の隣に、30点もの現代彫刻を展示。設置開始から四半世紀の時を経て、自然と彫刻がなじみ、風景の一部のよう。野外美術館として多くの人々に親しまれています。



県立藤野芸術の家

「ふれあい、体験、創造」をテーマにした豊かな自然に恵まれた芸術体験施設です。気軽に陶芸や木工、ガラス工芸等の芸術体験ができる体験工房や音楽スタジオがあります。



ふじのアート・ヴィレッジ

大自然の懐の芸術村・藤野に在住する作家たちの交流発信拠点。コンテナがギャラリーになっていて、作家たちの創作活動に触れることも。



I-ve×祭り

季節を鮮やかに染める、思い出を彩る祭り。

春夏秋冬、さまざまな表情を見せるさがみはらを艶やかに染める祭り。
魂がぶつかり、心が躍る。
その熱気とパッションは、参加する人、
見る人の心をつにし、ふるさとの絆を育みます。

「い〜べ」がつなぐ、
ふるさとの絆

TSUNAGARU



さがみ湖湖上祭花火大会
打ち上げ数は5,000発。山に囲まれた立地から花火の音が体に響き、湖面に映える光の美しさはひとしおです。

かながわのまつり50選

市民桜まつり

“72万人のふるさとづくり”をテーマに、市役所さくら通りをメイン会場に、パレードやステージなどさまざまなイベントが行われます。

泳げ鯉のぼり相模川

昭和63年から開催。五月晴れの空の下、相模川の両岸に渡した5本のワイヤーに、約1,200匹の鯉のぼりが泳ぐ姿は壮観です。

ナイアガラの滝



相模原納涼花火大会

情緒と水郷と鮎のまち。今やさがみはらの夏の風物詩として愛され、約8,000発の花火が夜空を彩ります。



上溝夏祭り

かながわのまつり50選

江戸末期に始まった歴史ある祭り。21基の神輿と8台の山車が祭りを盛り上げます。夜のとばりが下りる頃、神輿の提灯に明かりがともり華やきは頂点に。



橋本七夕まつり

かながわのまつり50選

地域の学生や団体などが制作する、趣向を凝らした約200本の竹飾りが見どころです。



相模の大風まつり

かながわのまつり50選

天保年間から伝わる伝統行事。中でも、新戸の八間^{だこ}風は14.5メートル四方、950キログラムもあり、毎年揚げていた風としては日本一の大きさ。巨体が空に浮かぶさまは圧巻です。

I-ve×遊び

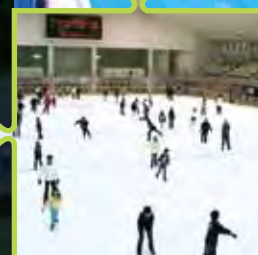
い〜べの原石を、いろいろピックアップ!

子どもの気持ちになって、市民目線で、来訪者の目で…。
大きな魅力を秘めた観光スポットなど、
五感が喜ぶい〜べの原石を集めました。



I-ve × アウトドア

自然と遊ぶアウトドアフィールドに恵まれたさがみはら。相模川の鮎釣りをはじめ、溪流沿いのキャンプや川遊び、カヌー、ボートなど、家族みんな水辺のレジャーが大好き。



I-ve × スポーツ

四方を緑に囲まれた、こだま(小倉)プールのウォータースライダーは僕らのお気に入り。小山公園ニュースポーツ広場には全国でも珍しいBMX(バイシクルモトクロス)の練習コースも。

さがみはら
×
I-ve





I-ve × アート

「見て!これ私が作ったの」。子どもたちの造形作品を展示する「さがみ風っ子展」は、相模原市独自の教育活動として注目されています。

I-ve × 食

おいしいラーメン屋さんが多い相模原市。各店が味を競う「さがみはら㊗️麺グランプリ」は楽しいイベント。また、スイーツフェスティバルのスタンプラリーも盛り上がります。



さがみはら
×
I-ve



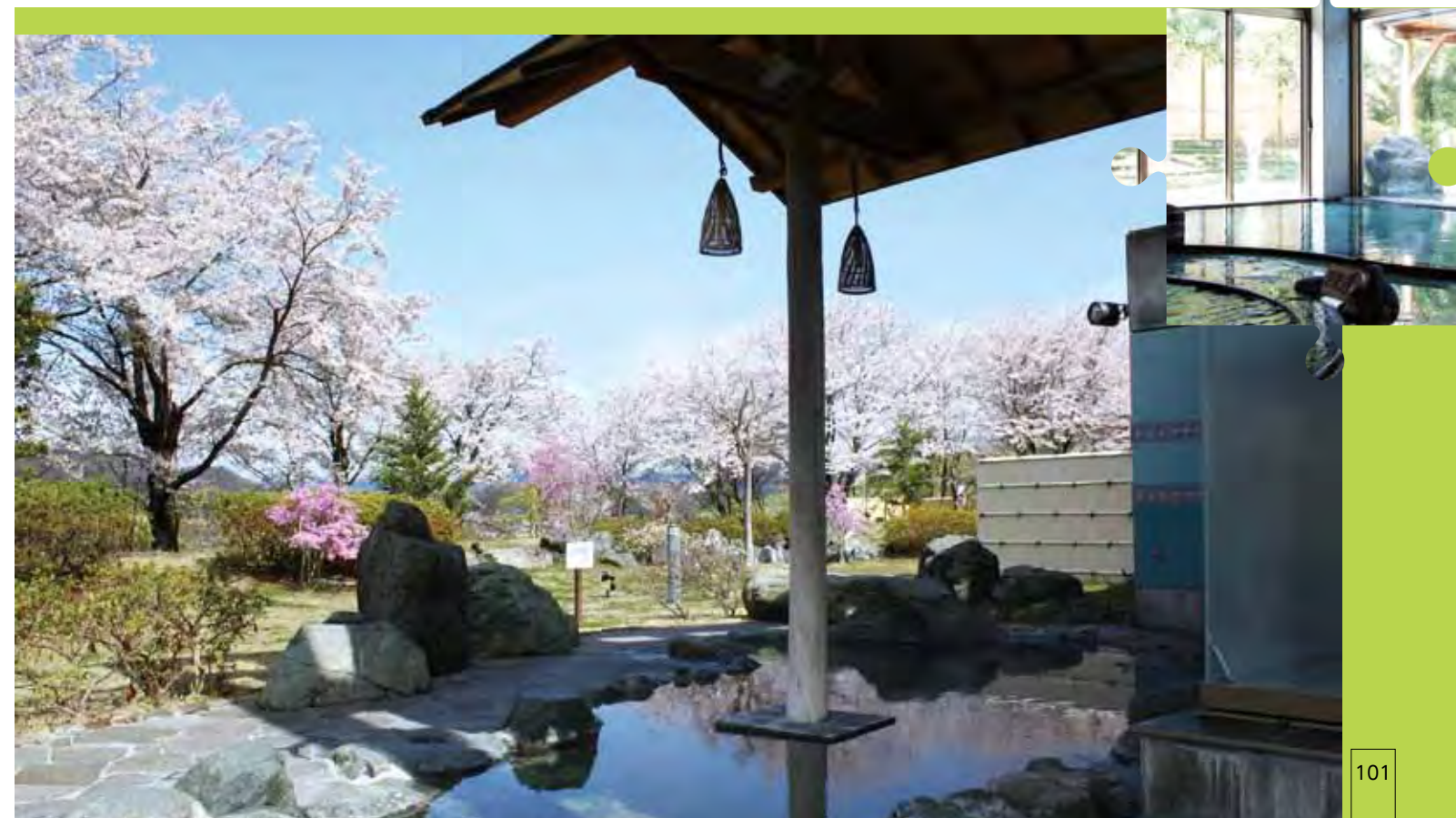
I-ve × 癒し

気軽に楽しめる立ち寄り温泉「藤野やまなみ温泉」、宿泊やスポーツもできる緑の休暇村の「いやしの湯」など、自然を眺めながらしあわせに浸れます。



I-ve × 体験

すごい!宇宙で活躍するロボットが見られちゃう。JAXAの特別公開日にはさまざまな体験ができ、全国からファンが集結します。また、相模原麻溝公園のポニー乗馬や相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはらも魅力。





まだまだつながる
市制施行60周年

「守ろう!」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 3
Protect!
The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

Taking lessons from the Great East Japan Earthquake of 2011, Sagamihara promotes disaster-preparedness efforts based on self-reliance and mutual assistance, boosting community disaster-preparedness capabilities while also undertaking mitigation measures and an enhanced medical care system so that all of its residents can live in safety and security.

第3部
“维护!”
面向未来相模原の魅力

相模原市根据东日本大地震的教训，促进自助、共助的防灾活动，在提高地区防灾能力的同时，积极推进所有人都能够安全、安心生活的防灾・减灾对策、医疗体制的充实等。



市マスコットキャラクター
「さがみん」

みんなの
想い
未来に
つなげよう





力を合わせて、
災害に強いまちづくり。

安全・安心でつながる、
さがみはら

TSUNAGARU



巨大地震の発生など、
大規模な自然災害はこれまで
繰り返し起こっています。
災害を完全に防ぐことは困難でも、
その被害を最小限に食い止める
「減災」の取り組みを進めることは可能です。
日頃の備えや防災訓練への参加が、
いざというときに役立ちます。
みんなで力を合わせ、命を、まちを守りましょう。

防災先進都市 さがみはら

災害対策で
近隣都市と
つながる

TSUNAGARU

在日米陸軍相模総合補給廠^{しょう}に隣接する、向陽小学校、小山中学校などの児童・生徒約1,700人が、訓練に参加。



2014.9.1 実施

九都県市合同防災訓練 in さがみはら

首都直下地震、東海地震を想定し、中枢機能の集積する首都地域の九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）では、市民、防災関係機関、国と連携・協力の下、合同訓練を実施しています。2014年度の幹事都県市として中央会場を担当する相模原市で、9月1日の防災の日^{ひろし}に在日米陸軍相模総合補給廠を中心^{しん}に各種訓練を行いました。

Disaster prevention



安倍晋三首相が視察。

九都県市の実動部隊が初めて
一同に集結するなど、計140機関が
連携・協力して、訓練を実施。
約1万人が参加、過去最大規模に。

九都県市合同防災訓練相模原市会場のテーマは「集結と連携」

午前10時、相模原市直下を震源域とするマグニチュード7クラス、
市内最大震度6強の地震が発生したことを想定し、各種訓練を実施。



海上自衛隊、在日米陸軍、横浜市消防局などのヘリコプター6機が出動。
本番さながらに、負傷者の搬送や救援物資の輸送を実施。



大型ビジョンで、消防、警察、
自衛隊、在日米陸軍など各部隊
の活動の様子などを常時放映。



首都圏の
防災意識をつなげる





2015.1.29・30

「全国救急隊員シンポジウム」

救命の未来予想図をいま！～はやぶさの故郷 ふるさと さがみはら～

2015年1月、相模原市で「全国救急隊員シンポジウム」を開催します。全国から6,000人を超える消防職員、医療関係者などが一同に集結。救急隊の直面している課題解決に向けた取り組みや未来に向かって実効性のある研究の発表と意見交換をし、救命の未来予想図を描き、全国へ向けて発信します。



強い地盤を活かし、 防災・減災拠点を担う

相模原台地の強い地盤上に位置し、地震に強いとされる相模原市。大手地質調査会社の協力により、本格的なボーリング調査で数億年前の頑丈な地層を掘り出し、地盤の強さを証明しました。内陸で津波の影響もないため、防災・減災拠点としての新たな都市開発や周辺地域との連携など、市ではさまざまな取り組みをしています。

スーパーレスキュー
はやぶさ▶

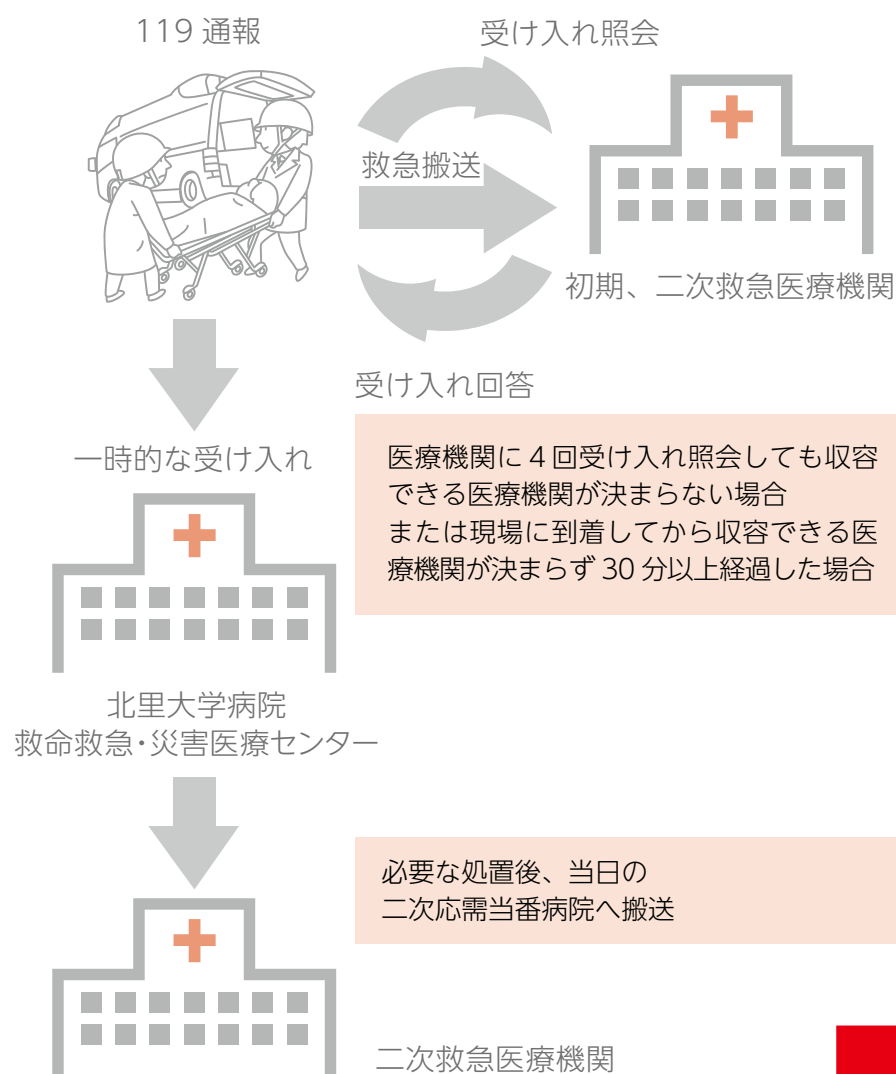


命をつなぐ

相模原ルール

救急搬送時に受け入れ先の医療機関が決まらないなど、たらい回しが社会問題に。さがみはらでは大切な命をつなぐために、独自の「相模原ルール」を設けています。

休日・夜間に発生した救急事案に対し、救急現場から医療機関に傷病者の受け入れが可能かどうかを照会。満床や手術中などの理由で速やかに傷病者の搬送先が決まらない場合には、北里大学病院救命救急・災害医療センターで一時的に受け入れて必要な処置を。その後、当日の二次応需当番病院へ搬送します。



大切な命をつなぐルール



地域の急性期医療を担う
北里大学病院
TSUNAGARU

2014.5.7
新病院開院



医療 × 設備 × アクセス



先端医療を備え急性期医療を集約

屋上にはヘリポートがあり、救命救急・災害医療センター、周産母子成育医療センターなどを設置。手術中にコンピューター断層撮影(CT)や血管造影を行える「ハイブリッド手術室」、手術支援ロボット「ダヴィンチ」など、高度医療を提供する機能を備えています。





みんなの
想い
未来に
つなげよう

市マスコットキャラクター
「さがみん」



まだまだつながる
市制施行60周年

「広げよう！」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 4
Expand!
The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

In Sagamihara, families, schools, communities and the city work as one to support the healthy development of children—the next generation—and to establish an environment that supports childrearing.

第4部
“扩展！”
面向未来相模原的魅力

相模原市家庭、学校、地区、市政府等团结一心，为了担负下一代重担的孩子们的健康成长，扎实推进有关支持对策，积极促进扩展支援育儿的环境整備等措施。

ひら
コラボで拓く、
健やかで心豊かに
暮らせる都市、
さがみはら

Collaboration

相模原インター

水泳やスキー、

これから

相模原市はリニア中央新幹線の神奈川県駅開設、圏央道の整備など、
広域的な交通網の整備に取り組み、大きな発展の可能性に満ちています（市長）

チェンジ付近のまちづくりは、どうなるのですか？（小学生）

企業を誘致することで雇用が増え、市の産業が活性化します（市長）

相模線の本数を増やしてほしい（小学生）

スケートなどスポーツのできる施設をもっと増やして（ジュニア・市政モニター）

のまちづくりの主役は、皆さんです（市長）



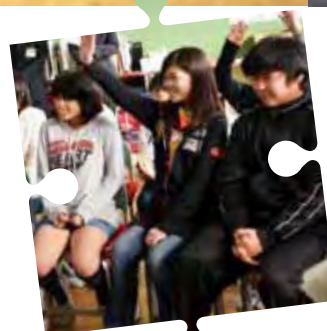
相模原市では市民参加によるまちづくりを推進。市長と小学生の意見交換会なども重ねています。また、ジュニア・市政モニターのアンケートも実施しています。



2014.2.5
加山市長 X 夢の丘小学校6年生

Collaboration

～「未来のさがみはら」について～



大人になっても住み続けたいまちです😊
（ジュニア・市政モニター）



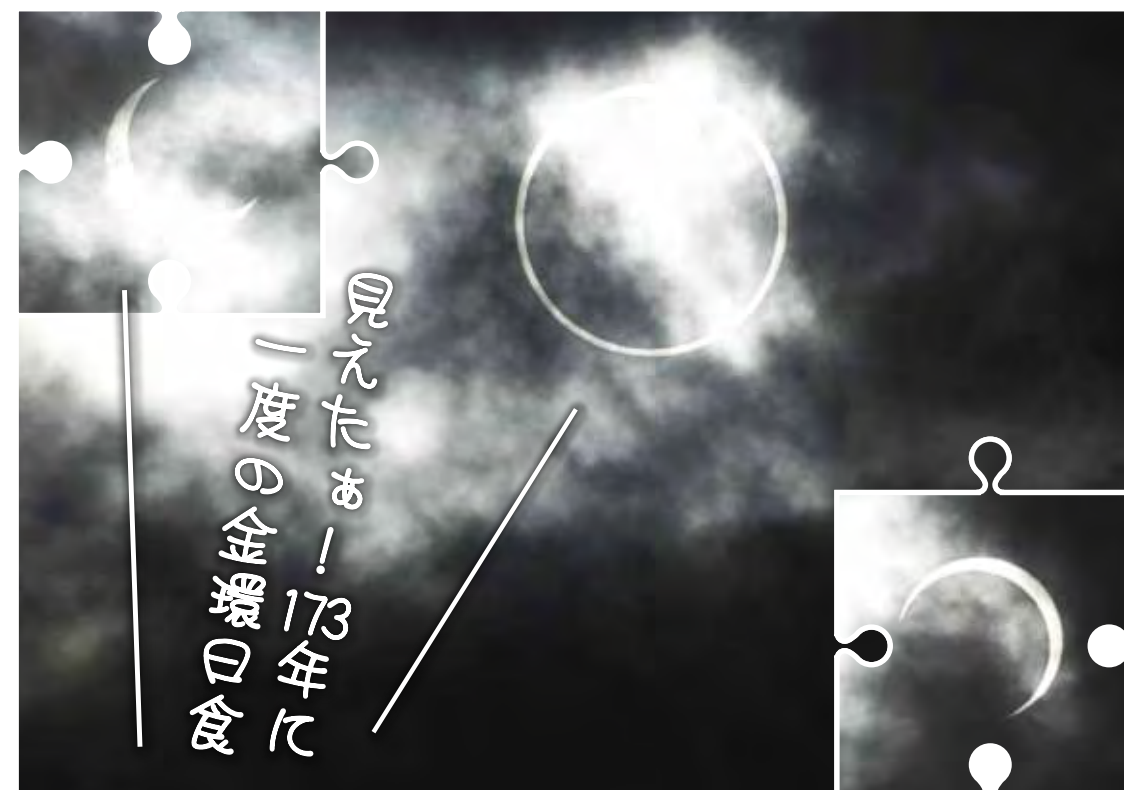
教育 **X** JAXA
Collaboration

登校時間を、
1時間
繰り上げた
学校も。

2012.5.21
市内の全小学校 72 校 4 万人で
金環日食を観察

コラボで拓く、
健やかで心豊かに
暮らせる都市、
さがみはら
Collaboration

宇宙を通して「子どもたちの成長を育む都市」を掲げる相模原市。
この日のために市内の全小学校で金環日食観察会を計画。
金環日食のメカニズムや正しい観察方法を子どもたちに教えるため、
JAXAの協力の下、教職員研修や4万枚のスコップ作りを行い、当日へ。
厚い雲に観察を諦めかけたとき、雲の切れ間から金環が現れ、
子どもたちの歓声が上がりました。



コラボでつながる、広がる、

笑顔の輪。



縦、横、斜め、いろいろな連携で、
暮らしたい、訪れたいまち、さがみはらへ。



コラボで拓く、
健やかで心豊かに
暮らせる都市、
さがみはら
Collaboration



人 × 人

Collaboration

その輝く瞳に託す、
さがみはらの明日。

笑顔 😊
×
笑顔 😊
×
笑顔 😊

そして未来へ、夢はつづく…。

相模原市長インタビュー



～未来へつながる～ SAGAMIHARA



先人の英知とたゆまぬ努力により着実な発展を続けてきた相模原市。2014 (平成26) 年11月20日、市制施行60周年を迎え、これまでのまちづくりを振り返り、明るく希望にあふれる未来に向かう相模原市への加山市長の思いを“牽引力、創造力、潜在力”の3つをキーワードにお伝えします。

Interview with the mayor

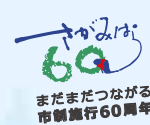
Sagamihara Mayor Toshio Kayama

Sagamihara was incorporated as a city in 1954, and recently celebrated its sixtieth anniversary.

I'm very pleased to be able to celebrate this commemorative year with our residents. At the same time, I look back at the development of a city made possible through the wisdom and persistent efforts of our forefathers. With the help of all our residents, I will do my utmost to build a bright and hopeful future for our hometown, Sagami-hara.

※市長采访 (Toshio Kayama, Mayor, City of Sagami-hara)
相模原市于1954年施行市制度，迎来了60周年的纪念之年。
我很高兴与广大市民一起迎来这个值得纪念的年头，同时，回顾先人的英知与不懈努力所实现的街区建设的扎实发展，与广大市民一道，为了故乡相模原充满光明希望的未来，我们将竭尽全力，努力工作。

～未来へつながる～
SAGAMIHARA



～未来へつながる～
SAGAMIHARA



60年の歴史に多くを学ぶ

市制施行60周年を迎えての率直な思いをお聞かせください。

市長 相模原市の60周年を市民の皆さまと迎えることができ、大変うれしく思います。同時に、今日の豊かな市民生活への道筋をつけていただいた、先人の英知、苦勞、不断の努力を、決して忘れてはならない、そんな思いも新たにしています。

相模原市が市制を施行したのは1954 (昭和29) 年11月のことです。2010 (平成22) 年には、戦後に誕生した市としては初めて政令指定都市に移行。市制施行当時約8万人だった人口は、今では72万人を超えるまでに成長しました。

戦後、日本は著しい経済成長を遂げましたが、その中心にあったのは「ものづくり、だ」と思います。その日本の歩みに、まさしく足並を揃えるように発展してきたまち、それが相模原ではないでしょうか。

市制施行の翌年、1955 (昭和30) 年には工場誘致条例を制定。多くの工場を誘致

し、国内有数の内陸工業都市として発展してきました。今、企業誘致はまちづくりの重要な柱として、各自治体で積極的に行われていますが、相模原はその先駆けだったといえると思います。このときの取り組みが、今の発展を支える基礎になっているのは間違いありません。

ものづくりの基本は、やはり企業の技術力、開発力によるところが大きいと思います。日本の経済を支えてきた中小企業には、優れた技術力、能力を持ったところが多く、また、常に発展を志向するパワーもあります。こうした企業の思いと相模原のまちづくりの方向性が重なったということでしょう。

1959 (昭和34) 年には、橋本近郊に市内最初の工業団地「大山工業団地」が誕生します。「ものづくりのまち、という相模原のまちづくりの方向性を確かなものにする大きな出来事でした。

また、企業集積による人口の流入に加え、その立地の良さから、東京都内で働く人たちのベッドタウンとして注目されたことも発

展の大きな理由です。

1983 (昭和58) 年には商業振興ビジョンを策定し、橋本、相模原、相模大野の3つの商業地を拠点として開発。多極連携型のまちづくりを進めるなど、商業の活性化、利便性の高い快適な市民生活の実現をめざしてきました。

しかし、急激な人口増加はいくつかの問題も生みしました。快適で安全・安心な暮らしを考える上で、小学校や中学校といった教育施設の充実、あるいは下水道の普及などは欠かせません。これらの整備が間に合わない、という時期もあったのです。さまざまな問題を乗り越え、課題を解決しながら、相模原市は一步一步成長してきました。それを支えた最大の力は、やはり市民の皆さまのご理解とご協力だったと思います。60年の歴史を振り返るとき、私は市民一人一人への深い感謝の念を抱かずにはいられません。



牽引力ー広域交流拠点都市へ

相模原市は、未来へのまちづくりに向けたさまざまなプロジェクトが同時に進行、または始まろうとしています。それぞれのプロジェクトについて具体的に教えてください。

市長 これまでの60年は、「相模原市をよくしたい」という視点でさまざまな施策に懸命に取り組んできました。もちろん、今後もその気持ちは変わりません。

しかし、これからの時代は、産業も、観光も、人の交流も、安全・安心な暮らしも、一つの地域・一つの都市だけで考えていくことはできません。あらゆる面で、他地域・都市との連携が求められていると思います。現在進行している、まちづくり構想に関わる大きなプロジェクトの実現は、首都圏における相模原の役割を大きく変えることになるでしょう。首都圏、そして日本を牽引していけるような「広域交流拠点都市」、それが、相模原のめざすまちづくりだと思います。

今年6月の、圏央道の市内区間の全線開通に伴い、市内2カ所のインターチェンジ(以下IC)周辺に4つの新たな産業拠点(麻溝台・新磯野地区、川尻大島界地区、金原・串川地区、当麻地区)を整備しています。すでに大型の物流施設も完成し、ものづくりのまち相模原の産業集積都市としての可能性を高めることになりました。また、圏央道は交通分散による渋滞緩和、災害時の緊急輸送道路などの役割も期待されています。

2027(平成39)年には、東京と大阪間を約1時間で結ぶ新たな大動脈、リニア中央新幹線のうち、東京～名古屋間の整備が予定されています。その駅が、橋本駅付近に設置されます。橋本駅には、JR横浜線・相模線、京王相模原線が乗り入れ、国道16号・129号、さらに圏央道からのアクセスも良く、首都圏南西部の交通ターミナ

ルとして、リニア中央新幹線駅の立地にふさわしいところです。本市の周辺都市と共に発展していけるよう大きな契機にしたいと思っています。

在日米陸軍相模総合補給廠の一部返還に伴う事業計画も進んでいます。今年9月相模総合補給廠の一部、約17ヘクタールが国へ返還されました。これは1981(昭和56)年の米陸軍医療センターの全面返還以来となる大規模返還で、米軍基地返還促進等市民協議会などの長年にわたる取り組みや防衛省をはじめとする多くの関係者のご尽力が実を結んだものです。

相模総合補給廠は、JR相模原駅前の、人口が密集する市街地にあり、市中心部に残された貴重な財産です。今年6月に策定した「市広域交流拠点基本計画」に基づき、公共的な機能や業務機能の集積を図るほか、コンベンション機能、新産業の支援機能、スポーツ、アートなどの文化交流機能の集積など、立地の優位性を生かしたまちづくりを進めたいと思います。また、このエリアを基幹的広域防災拠点(※)の整備箇所(候補地)として国に要望しているところです。さらに、相模総合補給廠の一部返還による、小田急多摩線の延伸への期待もさらに高まりました。リニア中央新幹線開業を見据え、2027(平成39)年までに、町田市1駅、相模原市2駅の「3駅整備」を前提に小田急多摩線延伸の実現をめざしています。

創造力ー新たな魅力の発信

医療や福祉、教育など、相模原市の特徴的な施策について伺います。

市長 相模原のまちづくりの基本は、市民一人一人が安全で、安心して暮らせるまちであることです。

そのためには、災害対策をはじめ、福祉や医療、教育など、誰もが「住みたい、住み続けたい」と思えるような、市民生活に直結した施策を着実に進めなければなりません。文化やスポーツの振興も、市民生活を豊かにし、生き生きとした地域社会をつくる上で欠かせません。これらの実現のためにも、しっかりと財政基盤を構築しなければなりません。そのためには、大規模プロジェクトの推進と連動して取り組んでいく必要があります。

相模原市には、「相模原ルール」という仕組みがあります。これは、いわゆる“病院のたらい回し”を防ぐもので、医療機関に4回受け入れ照会をしても、または現場到着して30分以上経過しても受け入れ先が決まらない場合、北里大学病院で受け入れていただく、というものです。

相模原市は他都市と比べて充実した医療体制が確保されていると自負しています。医師会や病院協会をはじめ、関係団体の協力を得て、休日、夜間の救急医療体制を確保しています。医師不足、超高齢社会への課題解決に向け、総合的な診療能力を有し、在宅医療も担うことができる医師「総合診療医」の育成も重要です。2013(平成25)年から、北里大学医学部で総合診療医育成・確保に向けた修学資金の貸付制度を創設したほか、連動した仕組みとして寄附講座を開設していただきました。市民がいつも元気で、安心して幸せに暮らせる「医療先進都市」。それが相模原の大きな目標の一つなのです。

子どもの健やかな成長は、社会全体の願いです。相模原市の未来を拓くのは子どもたち。「人が財産」、この基本理念に基づき、さまざまな取り組みを行っています。子育て世代が、育児と仕事を両立できるように、保育所や児童クラブでの待機児童解消など、子育て支援の環境整備の推進をしなければなりません。2009(平成21)年には、「さがみ風っ子教師塾」を開設しました。教育に対する理想と情熱を持ち、実践力のある教師を育てることが目的で、“相模原市の教員になりたい”という学生が対象です。



「牽引力、創造力、潜在力」

いじめや不登校、非行の低年齢化など、子どもを取り巻く環境が複雑化する中で、学校での組織的な対応力の強化や児童一人一人の教育ニーズに対応するために、今年度から児童支援専任教諭を配置し、段階的に増やす考えです。中学校では、一部の学校で1学級35人以下の少人数学級を試験的に導入し、その成果を検証しているところです。

いじめは、社会全体の問題です。実効性のあるいじめ防止策に取り組むため、昨年4月、教育委員会に「人権・児童生徒指導班」を設置し、今年3月にはいじめ防止基本方針を策定しました。

今、求められているのは、子どもたち一人一人に寄り添った教育環境です。その実現をめざし、取り組んでいきたいと思います。

潜在力ー環境共生都市への道

最後に、豊かな自然と都市の利便性に富んだ街並みが共存する新しい政令指定都市・相模原市についてお聞かせください。

市長 相模原市は、2008・2009(平成18・19)年に旧津久井郡4町と合併しました。

これにより、神奈川県民の貴重な水がめである津久井湖や相模湖をはじめ、県内最高峰の蛭ヶ岳、相模川や道志川など、澄んだ空気と豊かな自然に恵まれた都市となりました。週末には、サイクリングやハイキング、キャンプやバーベキューなど、市内外から、訪れる多くの人でにぎわいを見せています。

一方で、旧相模原市域では、橋本駅、相模原駅、相模大野駅の周辺の3つの中心市街地を中心に、快適な都市化が実現し人口も増加しています。都心に近く交通アクセスが充実していることに加え、相模原麻溝公園や相模原北公園など大規模な公園があるなど、都市の機能性と快適な環境が共生していることがその要因ともいえます。

市内や周辺都市には大学も多く、また小惑星探査機「はやぶさ」が組み立てられ、運用されたJAXA相模原キャンパスがあり、神奈川県が取り組む「ロボット産業特区」の一翼を担うなど、文教・研究開発都市としての顔も持っています。

都市化された街並みと豊かな自然環境、都心への快適なアクセス性と良好な住環境、未来の相模原市を担う子どもたちのための教育環境、医療・福祉の充実。そのために強固な財政基盤を築き、相模原市のもつポテンシャル(潜在力)を最大限に生かしながら、市民一人一人が安全、安心に暮

らせるまちづくりを、これからも推進していきたいと思います。

市制施行60周年を、相模原市の未来へ向けた新たな出発と位置付けて、「住みたい、住み続けたい相模原市」であり続けるために、市民の皆さまと共にこれからも走り続けていきたいと思います。

(※) 基幹的広域防災拠点：都道府県では対応が不可能な、広域あるいは甚大な被害に対して、国や地方公共団体が協力して応急復旧活動を行うための防災活動拠点





まだまだつながる
市制施行60周年

「伝えよう！」

未来へつなげたい、さがみはらの魅力

Chapter 5

Convey the present, past and history!

The attractions of Sagamihara we wish to pass on to future generations

Sagamihara started out with a population of eighty thousand in November 1954. Overcoming numerous issues—including rapid population growth, military base issues and mergers—the city became a government ordinance city with a population of 720,000 in April 2010.

As a government ordinance city, we look back with pride on our community development efforts, which have produced steady progress toward a solid future.

第5部

今昔、歴史

“传承！”

面向未来相模原の魅力

1954年11月，相模原市起步时人口仅有8万人。我们解决了人口急增与基地问题、合并等各种课题，2010年4月，向政令指定都市转型，已经成为人口超过72万人的城市。作为政令指定都市—相模原，我们经常回顾面向未来扎实发展的相模原市迄今为止的街区建设。

みんなの
想い
未来に
つなげよう



市マスコットキャラクター
「さがみん」

緑区

さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

戸建ての住宅密集地から、都市型住宅街へ。30年余りですっかり表情を変えた橋本駅周辺は感慨深い…。また、新旧の道志橋・日連大橋周辺は豊かな緑を今につないでいます。



相模原IC



小倉橋(昭和40年)



相模湖地区・与瀬



旧相模湖町与瀬地区(昭和19年頃)



新道志橋と旧橋跡



旧道志橋(昭和34年)



日連大橋



旧日連大橋(昭和35年)



橋本駅周辺

今
Present

昔
Past

橋本駅周辺(昭和59年)



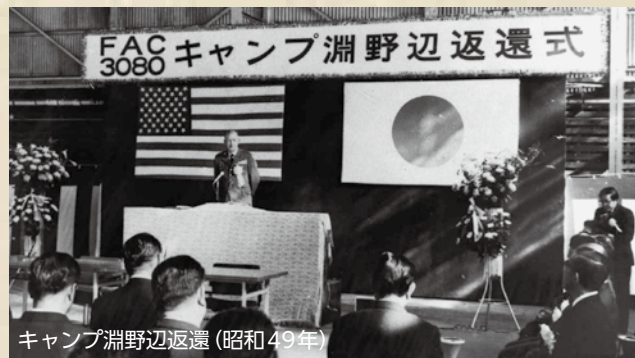
さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

ペデストリアンデッキがシックな現在とボンネットバスが並ぶかつての光景の対比が印象的な相模原駅。木造の旧市庁舎周辺ののどかさ、相模川の鵜飼にも、ときの流れを感じます。



キャンプ淵野辺跡地



キャンプ淵野辺返還 (昭和49年)



市役所周辺



旧市庁舎周辺 (昭和30年)



鮎漁解禁



相模川での鵜飼風景 (昭和37年頃)

撮影：江成常夫氏



上溝すずらん通り



上溝すずらん通り (昭和30年代)



相模原駅前



相模原駅前 (昭和33年)

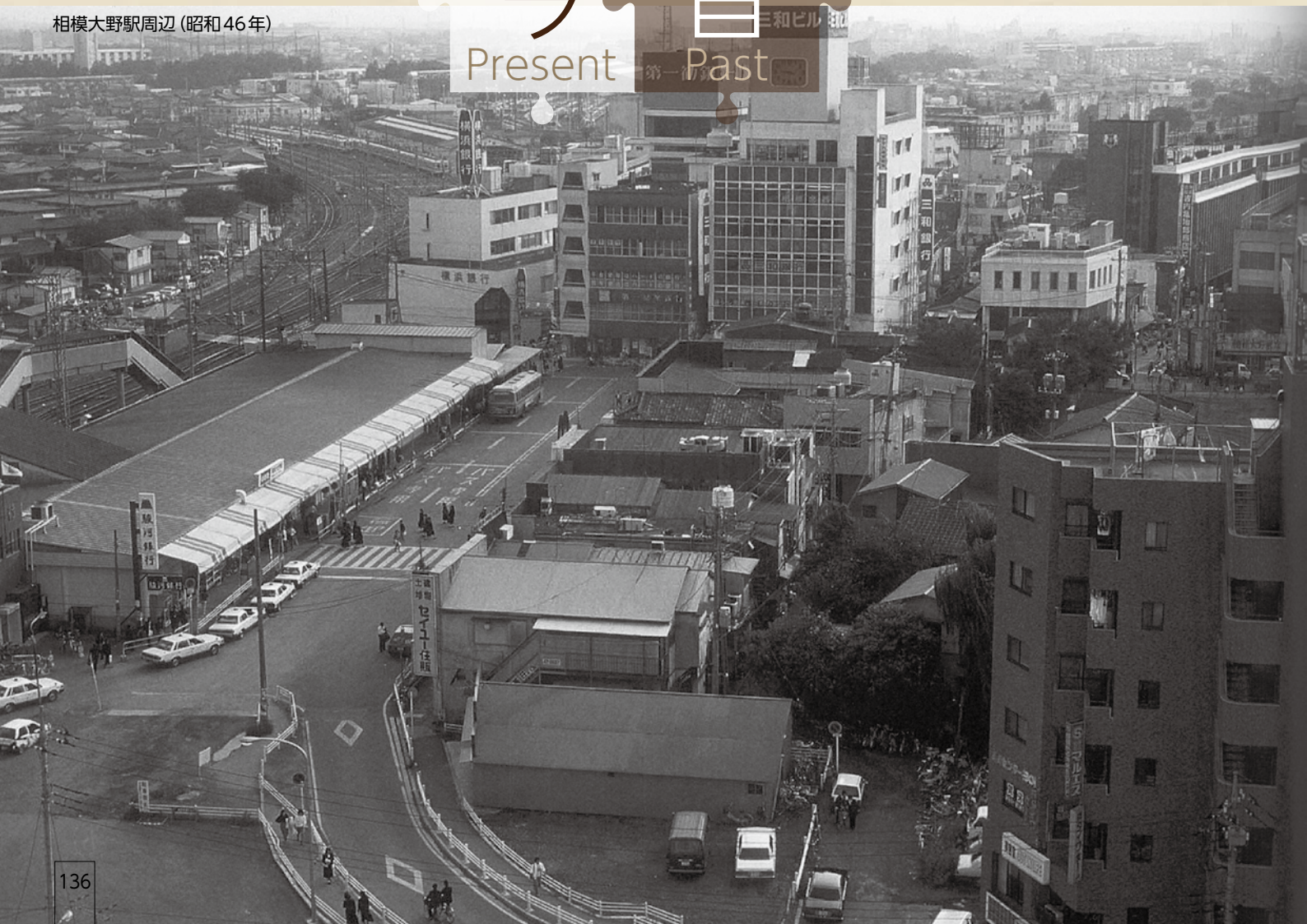
今
Present

昔
Past



相模大野駅周辺

相模大野駅周辺(昭和46年)



今昔
Present Past

さがみはら今昔物語

SAGAMIHARA MEMORIAL

南区

昔の相模大野駅周辺はビルが並び思いのほか立体的で、平面的な街並とは一線を画しています。真新しい相模原愛川IC付近の今後の変化が注目されます。



小田急相模原駅周辺



小田急相模原駅(昭和23年頃)



国道16号古淵付近



国道16号古淵付近(平成元年)



相模原愛川IC付近



昭和橋開通式(昭和6年)



砂利採集跡地付近



相模川での砂利採集(昭和8年頃)

歴史で つながる さがみはら 明治～昭和

TSUNAGARU



大正10年 相模川の帆かけ舟



荒川吊橋(津久井町)

明治22年の市制町村制施行が、
地域の新たな礎に！

城山

- 明治22年 4月 市制町村制施行 川尻村、湘南村、三沢村が誕生
- 明治41年 9月 横浜鉄道(現在のJR横浜線)の東神奈川～八王子間が開通
- 昭和6年 7月 川尻石器時代遺跡、国指定の史跡に
- 昭和13年 7月 小倉橋架け替え
- 昭和17年 3月 県営谷ヶ原浄水場開所

大正初期 消防出初式 上溝の市場通りに整列



明治41年 開通当時の淵野辺駅

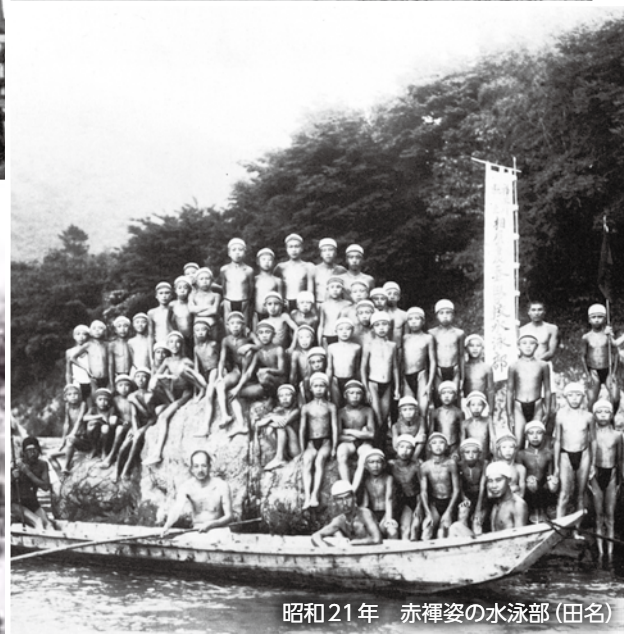


津久井

- 明治22年 4月 市制町村制施行 三沢村、中野村、太井村、又野村、三ヶ木村、青山村、長竹村、根小屋村、鳥屋村、青野原村、青根村が誕生
- 明治35年 10月 津久井郡立蚕業学校(現県立津久井高校)開校
- 明治42年 5月 青山村、長竹村、根小屋村が合併し串川村が誕生
- 大正9年 5月 荒川橋の完成
- 大正14年 4月 中野町が誕生



昭和14年 相模陸軍造兵廠創立一周年記念式典(矢部)



昭和21年 赤澤の水泳部(田名)



5層構造の吉野宿本陣(藤野町)

相模湖

- 明治22年 4月 市制町村制の施行 小原町、内郷村、千木良村、与瀬駅が誕生
- 明治34年 8月 中央線与瀬駅(現JR相模湖駅)が開業
- 大正2年 4月 与瀬駅が与瀬町に改称
- 大正7年 8月 柳田國男他郷土会による内郷村落調査
- 昭和22年 6月 相模ダムの完成、日本初の人工湖・相模湖が竣工

藤野

- 明治22年 4月 市制町村制の施行 吉野駅、小淵村、沢井村、日連村、名倉村、牧野村、佐野川村が誕生
- 明治29年 12月 吉野駅大火
- 大正2年 4月 吉野駅が吉野町に改称
- 昭和15年 11月 日連村勝瀬地区離村式
- 昭和18年 7月 中央線藤野駅の開駅式

(明治～昭和28年)

1868 ▶ 1953

相模原

- 明治22年 4月 市制町村制の施行 座間村、新磯村、麻溝村、田名村、溝村、大沢村、相原村、大野村が誕生
- 明治41年 9月 横浜鉄道(現JR横浜線)開通。淵野辺駅・橋本駅開業
- 大正10年 6月 田名～下九沢～橋本バス路線開通
- 昭和12年 9月 陸軍士官学校が座間村に移転
- 昭和13年 3月 小田原急行鉄道の相模原駅(現小田急相模原駅)開業
- 4月 通信学校駅(現相模大野駅)開業
- 昭和16年 4月 2町6か村が合併し、相模原町誕生
- 4月 相模原駅開業
- 昭和23年 9月 座間町が分離



小松川の改修工事(城山町)



昭和22年 昭和天皇相模湖行幸(相模湖町・与瀬駅)



昭和45年 東海大学付属相模高校
全国高校野球大会優勝パレード(市民会館前)



昭和46年 市役所通りでのデモ(中央)



昭和29年 市制施行



昭和49年、第1回市民桜まつり(市役所前)



昭和29年 上溝駅付近の街並み



昭和37年 荒川集落を峰の薬師から撮影(津久井町)

それぞれがまちの特長を生かし、
昭和から平成へ

城山

- 昭和30年 4月 川尻村・湘南村・三沢村(中沢地区)が合併し、城山町が誕生
- 昭和44年 6月 皇太子殿下が城山ダムと城山発電所を視察
- 昭和49年 10月 第1回観光産業まつり(現もみじまつり)を開催
- 昭和63年 7月 小倉橋のライトアップ(夏期)が始まる
- 平成 4年 4月 第1回城山町緑化まつりを開催
- 平成10年 10月 かながわ・ゆめ国体炬火リレー
かながわ・ゆめ国体秋季大会ホッケー競技開催
- 平成12年 8月 小倉橋の灯ろう流しが30年ぶりに復活
- 平成16年 3月 新小倉橋が開通

津久井

- 昭和30年 4月 中野町・串川村・鳥屋村・青野原村・青根村・三沢村(三井地区)が合併し、津久井町が誕生
- 昭和32年 1月 尾崎記念館(現尾崎弔堂記念館)が完成
- 昭和40年 4月 城山ダムが完成し、津久井湖が誕生
- 昭和56年 5月 文化福祉会館が完成
- 昭和61年 10月 第1回津久井やまびこ祭り開催
- 平成 3年 4月 カナダ・トレイル市との友好都市提携に調印
- 平成10年 10月 かながわ・ゆめ国体馬術競技開催
- 平成12年 4月 鳥居原ふれあいの館が完成
- 12月 宮ヶ瀬ダム建設事業竣工式
- 平成15年 11月 第1回尾崎弔堂弁論大会を開催
緑の休暇村「いやしの湯」がオープン

相模原

- 昭和29年 11月 相模原市誕生、10月1日の人口8万374人、予算規模は約2億2千万円
- 昭和30年 7月 工場誘致条例制定
- 昭和45年 8月 東海大学付属相模高校野球部甲子園初優勝
- 12月 相原高校が全国高校駅伝大会で優勝
- 昭和49年 4月 第1回市民桜まつり開催
- 11月 米軍キャンプ淵野辺が日本政府に全面返還
- 11月 市の鳥に「ヒバリ」、市の花に「アジサイ」を制定
- 昭和50年 3月 『こども急増びんぼうはくしょ(相模原市財政白書)』発行
- 昭和54年 11月 市民憲章制定
- 昭和56年 4月 米陸軍医療センターが日本政府に全面返還
- 昭和58年 3月 商業振興ビジョンを策定
- 昭和60年 10月 中国・無錫市と友好都市提携
- 昭和62年 8月 人口50万人突破



平成2年 京王橋本駅開業を祝う鼓笛隊の演奏



昭和33年 県立相原高等学校(橋本)

昭和55年 国鉄橋本駅新駅舎落成式

相模湖

- 昭和30年 1月 与瀬町・小原町・千木良村・内郷村が合併し、相模湖町が誕生
- 9月 第10回国民体育大会ボート競技を開催
- 昭和39年 10月 オリンピック東京大会カヌー競技を開催
- 昭和57年 4月 相模湖自然公園ふるさとの森オープン
- 平成 6年 11月 第1回甲州街道小原宿本陣祭開催
- 平成 8年 8月 第1回相模湖町民レガッタ開催
- 平成10年 9月 かながわ・ゆめ国体ボート競技開催
- 平成12年 4月 県立相模湖交流センター・相模湖記念館がオープン
- 平成13年 4月 さがみ湖リフレッシュセンターオープン
- 平成16年 4月 小原の郷オープン

(昭和29年～平成17年)

1954 ▶ 2005

- 平成 3年 5月 カナダ・スカボロー市(現トロント市)と友好都市提携
- 平成 4年 10月 グリーンウェーブ・相模原'92開幕
- 平成11年 1月 田名向原遺跡、国指定の史跡に
- 平成12年 4月 保健所設置(「保健所政令市」へ移行、ウェルネスさがみはらオープン)
- 平成13年 11月 総合写真祭「フォトシティさがみはら2001」開幕
- 平成15年 4月 中核市に移行
- 平成16年 11月 市制施行50周年



平成10年 かながわ・ゆめ国体夏季大会メイン会場(横山)



平成15年4月 中核市に移行

藤野

- 昭和30年 7月 吉野町・日連村・名倉村・牧野村・佐野川村が合併し藤野町誕生
- 昭和43年 12月 中央自動車道の八王子IC～相模湖IC間が開通
- 昭和46年 12月 石井家住宅、国指定の重要文化財に
- 昭和58年 12月 陣馬山・相模湖周辺が県立自然公園に指定
- 平成 3年 5月 郷土資料館「ふじや」(現吉野宿ふじや)開館
- 平成 7年 10月 県立藤野芸術の家オープン
- 平成 9年 4月 藤野やまなみ温泉オープン
- 平成10年 10月 かながわ・ゆめ国体山岳競技開催
- 平成12年 3月 日連橋開通
- 平成17年 4月 学校法人シュタイナー学園(構造改革特区)開校

合併の記録

自然と産業が調和し 人と人がふれあう 活力ある自立分権都市 相模原

平成15年	7月	相模原市と津久井郡4町で「市町村合併に関する調査研究部会」を設置し、合併についての調査研究を開始
平成16年	1月	津久井郡の4町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
	4月	城山町長、津久井町長、相模湖町長が相模原市長へ合併協議を申し入れ
	11月	任意の合併協議会である「相模原・津久井地域合併協議会」を設置(相・城・津・湖)
平成17年	1月	藤野町長・議員・町民を委員とする「藤野町市町村合併推進協議会」を設置
	2月	津久井町長、相模湖町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
	3月	藤野町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
		「相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会」(法定協議会)を設置
		相模原市・津久井町・相模湖町が合併協定の調印
		相模原市・津久井町・相模湖町の合併関連議案を各市町議会で可決
		相模原市長、津久井町長、相模湖町長が県知事への合併の申請
	4月	「相模原・津久井地域合併協議会」(法定協議会)を設置(相・城・津・湖)
		「相模原市・藤野町合併協議会」(法定協議会)を設置
	7月	県議会の議決(相・津・湖)
		県知事の決定・総務大臣へ届け出(相・津・湖)
平成18年	8月	総務大臣の告示(相・津・湖)
	11月	相模原市・藤野町が合併協定の調印
	3月	「相模原・津久井地域合併協議会」を廃止(相・城・津・湖)
		相模原市・藤野町の合併関連議案を各市町議会で可決
		相模原市長、藤野町長が県知事へ合併の申請
		相模原市・津久井町・相模湖町 合併(3月20日)
		城山町長が相模原市長へ合併協議の申し入れ
	4月	「相模原市・城山町合併協議会」(法定協議会)を設置
	6月	相模原市・城山町が合併協定の調印
		相模原市・城山町の合併関連議案を各市町議会で可決
	7月	相模原市長、城山町長が県知事へ合併の申請
		県議会の議決(相・藤)
		県知事の決定・総務大臣へ届け出(相・藤)

8月 総務大臣の告示(相・藤)
10月 県議会の議決(相・城)
11月 県知事の決定・総務大臣へ届け出(相・城)
平成19年 3月 総務大臣の告示(相・城)
「相模原市・城山町合併協議会」を廃止
「相模原市・藤野町合併協議会」を廃止
相模原市・城山町・藤野町 合併(3月11日)
新「相模原市」誕生



相模原

城 山 津久井

相模湖 藤 野

TSUNAGARU



平成19年3月11日 相模原市・城山町・藤野町合併記念式典



平成18年3月20日 相模原市・津久井町・相模湖町合併記念式典



相模原

2008 ▶ 2014

- 平成20年 6月 新しい総合計画の基本構想を策定
平成21年 4月 新型インフルエンザ対策本部を設置
10月 さがみ風っ子教師塾を開塾
平成22年 3月 市民公募のシティセールスコピー「潤水都市 さがみはら」が決定
4月 **全国で19番目の 政令指定都市に移行** 緑区・中央区・南区の3区を設置
10月 市長とワーシンスキー在日米陸軍司令官が相模総合補給廠の共同使用に関する覚書を交わす
11月 潤水都市さがみはらフェスタを開催
平成23年 3月 東日本大震災発災 災害対策本部会議を開催
平成24年 2月 緑区イメージキャラクター「ミウル」をお披露目
6月 銀河連邦が、「はやぶさ」が帰還した6月13日を「はやぶさの日」と制定
8月 市ホームタウンチームを認定
8月 「こけ丸」を市シティセールスサポーターに委嘱
平成25年 3月 相模大野駅西側地区市街地再開発ビル「bono相模大野」、ユニコムプラザさがみはら、さがみはらアンテナショップ「sagamix」、相模大野パスポートセンターがオープン
3月 緑区合同庁舎がオープン

シティセールス
サポーター
「こけ丸」



緑区イメージキャラクター
「ミウル」

ますます暮らしやすく、
ぐんぐん発展を続ける都市へ。

- 平成25年 3月 圏央道相模原愛川ICが開通
9月 JR東海から「環境影響評価準備書」が送付され、リニア中央新幹線の神奈川県駅の具体的な位置が「橋本駅付近」と示される
10月 小田急相模原駅北口B地区市街地再開発ビル「ペアナードオダサガ」がオープン
10月 相模総合補給廠北側外周部分の一部返還が日米合同委員会で合意
11月 SC相模原のJ3への昇格が決定
平成26年 4月 市マスコットキャラクターが「さがみん」に決定
9月 相模原総合補給廠の一部が日本政府に返還

相模原
城山 津久井
相模湖 藤野



市マスコットキャラクター
「さがみん」



平成22年4月 政令指定都市移行宣言式



平成24年8月 市ホームタウンチーム認定式



平成24年6月 はやぶさの日制定



平成25年3月 緑区合同庁舎オープン



平成25年3月 相模原愛川IC開通 プレイベント



平成21年10月 政令指定都市移行に向けたPR看板の除幕式



平成24年11月 潤水都市さがみはらフェスタ



平成26年11月 相模総合補給廠一部返還セレモニー (潤水都市さがみはらフェスタ)



平成26年11月 銀河連邦から「はやぶさ2応援メッセージ」を届ける (潤水都市さがみはらフェスタ)

相模原市民憲章

わたくしたち相模原市民は 相模野の広い台地 相模川の雄大な流れ 先人より
受け継いだ開拓の精神や伝統を誇りとし 敬愛と協調を高め 住みよい風格のある
まちへの限らない発展を願つて この市民憲章を定めます

- 1 青い空 あふれる緑 澄んだ水 うるおいのあるまちをつくります
- 1 いのちを大切にし 思いやりと笑顔で 明るいくらしを築きます
- 1 心とからだをきたえ はげましあい 希望をもつて働きます
- 1 ものをだいじにし きまりや約束を守ることを誇りとしします
- 1 おたがいに学びあい 豊かな市民の文化を育てます

昭和54年11月18日制定

相模原市民の歌 相模原市教育委員会制定

植村 栄輔 作 詞
勝 承夫 補 作
平井康三郎 作編曲

いきいきと(♩=120)

さ い こ の は ら の む か し よ り き ほう か が や く さ が み は ら

よ よ の め ぐ み を ち に う け て

さ ち あ る わ れ ら よ る と こ ろ ひ か り が まー ねー く

あ すー が よ ぶ

一、柴胡の原の昔より
希望輝く相模原
代代の恵みを地にうけて
幸あるわれら寄るところ
光が招く明日が呼ぶ

二、実りの波は野に丘に
夢も燃えたつ相模原
青雲高く生産の
平和のけむりたつところ
建設の歌わきあがる

三、ながれは清くゆうゆうと
絵巻はひらく相模原
季節のいろをちりばめて
文化の花の咲くところ
われらがまちに栄あれ



発行：相模原市 広聴広報課 ☎ 042-769-8200
発行日：平成26年11月20日
企画・デザイン・印刷：タイヨー印刷株式会社